

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回つくば市スポーツ推進審議会		
開催日時		令和7年(2025年)7月22日 開会14時 閉会15時34分		
開催場所		つくば市役所 会議室202		
事務局(担当課)		市民部スポーツ振興課		
出席者	委員	酒井利信 委員(会長)、萩原武久 委員、齊藤まゆみ 委員、四位悟 委員、あさのえくこ 委員、片岡千恵 委員、石黒澄子 委員、木村一男 委員、野村友香里 委員、根本祥代 委員		
	事務局	市民部：稲葉部長、武笠次長(兼スポーツ施設課長) スポーツ振興課：沼尻課長、瓜阪課長補佐、原係長、田山係長、小林主事、奥澤主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1名
非公開の場合はその理由				
議題		第2次つくば市スポーツ推進計画における令和6年度実績評価について		
会議録署名人			確定年月日	
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱状交付 3 会長あいさつ 4 議 事 第2次つくば市スポーツ推進計画における令和6年度実績評価について 5 その他 6 閉 会			

<審議内容>

1. 開会

○事務局：それでは定刻となりましたので令和7年度第1回つくば市スポーツ推進審議会を開会いたします。

2. 委嘱状交付

○事務局：年度も変わり事務局や委員の入れ替えがございましたので、紹介及び委嘱状の交付を行います。

<事務局職員の紹介>

○事務局：続きまして、新任委員のご紹介です。つくば市中学校体育連盟会長の任期満了に伴い、前任の額賀委員の任を令和7年4月30日付で解き、新たに手代木中学校の校長であります、四位悟様を任命いたします。前任者の残任期間となります令和7年5月1日から令和7年11月18日までが任命期間となります。

市民部長の稲葉より四位委員に委嘱状を交付いたします。

<委嘱状交付>

○事務局：それでは、四位委員から一言お願いいたします。

<四位委員あいさつ>

○事務局：本審議会は、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例に基づき、原則公開となっております。傍聴を希望される方がいらっ

しゃった場合には入室を許可しますので、あらかじめご承知おきください。

また、会議録作成のため審議中は録音しておりますので、ご発言の際は近くのマイクをご使用くださいますようお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、スポーツ推進審議会酒井会長からご挨拶をお願いいたします。

3. 会長あいさつ

<会長あいさつ>

4. 議事

○事務局：それでは議事に移ります。議事進行につきましては、つくば市スポーツ推進審議会条例第6条第2項の規定に基づき、会長が議長を務めることとなっております。

○酒井会長：本日の会議の成立を確認するために委員の出席状況について報告させていただきます。本日のつくば市スポーツ推進審議会は委員数12名のところ、10名の出席となっております。出席委員数が半数以上に達していますので、つくば市スポーツ推進審議会条例第6条第3項の規定により、当会議が成立することを報告いたします。

これから本日の議事となりますが、第2次つくば市スポーツ推進計画における令和6年度実績評価について、事務局からご説明をお願いします。説明時間が長くなるかと思われますので、3つの基本戦略ごとにまとめて進めていきたいと思っております。また、各委員から事前の質問がある場合には、あわせて事務局から説明をお願いします。

それでは、まず基本戦略1「スポーツ機会の創出」について、事務局か

らお願いをいたします。

<議事資料1・2により事務局から説明>

<当日配付資料1（事前質問No.1）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○学び推進課：児童生徒の体力向上を図るため、体育の授業は核となる位置付けです。授業内容は、児童生徒の年齢や発達段階に応じた適切な運動が計画的にカリキュラムされていることから、児童生徒の体力や運動能力の評価が定期的に行われることにより、個々の進捗に応じた指導が可能となっています。

今後も各学校では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査（体力テスト）等の結果を踏まえ、各学年・学級の実態に応じて授業内容を工夫し、児童生徒の体力向上に努めていきたいと思っております。

○酒井会長：萩原委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○萩原委員：わかりました。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料1（事前質問No.2）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○学び推進課：体育の授業が苦手や嫌いと感じている児童生徒は一定数います。単元の内容によってもその差が生じているのが実情です。そのため、各学校では単元内容の特性や児童生徒の実態を踏まえ、誰もが「わかる・できる・かかわる」を念頭に置いた授業づくりに努めています。

具体的には、皆が各単元で教材・教具の工夫をしたり、児童生徒自身が

ルールを決めたりして、運動の楽しさを味わえるようにしたり、運動への抵抗感を減らしたりすることをできるよう努めています。

また、競争よりも協力することの楽しさを重視したり、個別の指導やサポートを行いながら、個人内評価の観点を重視したりすることで、自身の成長や課題を実感しながら、主体的に参加できるように工夫しています。

○酒井会長：萩原委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○萩原委員：すごく難しい質問をさせていただいたのですが、それこそ体育嫌いの児童生徒をどういうふうになくするか、ということだろうと思います。その働きかけをすることこそがつくばらしさに繋がってくると思うのです。よそはみんなわかっているけど、面倒くさいからなかなかそんなことやらない。でも、つくばらしさを要望するのであれば、是非そこに一歩踏み込んでいただければと思います。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料1（事前質問No.3）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○こども育成課：スポーツに関する事業を行った36回について、何校での実施かということなのですが、小学校及び義務教育学校16校と児童館1館、交流広場2ヶ所、計19ヶ所での開催となります。

併せて申し訳ありませんが、数値の修正をお願いしたいと思います。活動実績の数字、参加児童数が1,183名とありますのは、1,207名が正しく、地域ボランティアの人数が267人とありますのは、正しくは275人となります。修正をお願いします。

○酒井会長：あさの委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○あさの委員：36回で16校と児童館1つ、交流広場2つということは、複数や

ったところがあるということでしょうか。また、どういった種目をされていますか。

○こども育成課：多いところだと5回実施した小学校もありました。種目の内容は多岐に渡り、ダンスや縄跳び教室、スポーツ鬼ごっこというような何種類かを実施しています。また、パラスポーツに学校全体で挑戦したのもありました。

○あさの委員：バラエティがあっていいとは思いますが、なるべく多くの学校で1回は放課後に体を動かすことの楽しみを入れて欲しいと思います。今年から沼崎小で放課後アフタースクールが始まっていますが、体育館でも非常によく遊んでいます。子どもに必要なことが、なかなか授業中でも難しかったりする子が多い中で、やはり放課後の機会をなるべく使ってほしいと思います。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料1（事前質問No.4）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○スポーツ振興課：地域資源との連携については、スポーツの振興を図る上で必要不可欠であると認識しています。例えば、現在進行中の部活動の地域展開においては、現在、登録制度といった諸制度の構築を教育局学び推進課が主体となって進めていますが、局外においても我々スポーツ振興課、あるいは芸術文化推進課といった部署との議論を深め、個々の部署が持つノウハウを取り入れながら進めていると承知しています。

部活動の地域展開という限定的な枠組みの中ではありますが、行政内の多くの部署が横断的に連携している事例であると考えられ、今後、スポーツ振興課を窓口とし、スポーツ協会、各スポーツチーム、民間企業といっ

た地域資源を巻き込むことも想定しながら、好事例となるよう検討を進めていければと考えています。

○酒井会長：萩原委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○萩原委員：この問題については、説明をいただいた一例だけではなく、行政が実施するスポーツすべてについて考えて欲しいと思います。スポーツという名前が付くものを全部一元化できるわけではありません。行政のやってきた今までの方策は個別最適といえますか「俺たちのやっていることが一番いいんだ。」と、皆さんそう思っているかもしれませんが、いいと思っていることをどう繋げるかということもまた、行政の大事な仕事だと思います。

今回、スポーツ振興課を中心にして、各部署から出てきた事業評価に対して「評価をし直そう。各部署と話をしよう。」としていることは、すごく大事なことだと思います。やっとここへ来ました。このスタートラインに立ったものをこれからどうやっていくか。

今までの内容をみても、子どものスポーツ、成人のスポーツ、高齢者のスポーツ、障害者のスポーツといったようにグループ分けできるじゃないですか。その分けたものをそれぞれの部署が単体でやるのではなく、先ほどから申し上げているように、皆さんが集まってやるのが、これから大きな意味を持つのではないのでしょうか。その時代に合うものを今からやっていくという意味では、スタートを切ってくれたことに感謝したいと思います。さらに厚みをつけてスピードアップしてやっていただければありがたいと思います。

○酒井会長：ありがとうございます。行政内の横の繋がりというのは、ずっと萩原委員がおっしゃっていることですね。これは重要なことだと思いますので、どんどん進めていただきたいと思います。

では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料1（事前質問No.5）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○健康増進課：復活していない団体については、高齢化により団体の復活が難しい現状ではありますが、新たな団体を立ち上げ、出前健康教室を利用しただけのように、案内チラシの区会回覧や交流センターなどでの配布、広報つくばや市ホームページなどに案内を掲載することによる周知活動のほか、地域包括支援課等との連携により、必要な方に出前健康教室の案内を行っています。

その効果として、令和5年度は5件、令和6年度は4件、令和7年度は6月末現在ですが3件の新規団体が立ち上がっている状況となっています。

○酒井会長：あさの委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○あさの委員：わかりました。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料1（事前質問No.6）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○健康増進課：フレイル予防と運動の習慣化の促進のため、集団健診などでの運動のチラシの配布や市ホームページでフレイル予防の運動の掲載を行ったり、ユーチューブを使って5種類の動画を配信しております。また、いきいきプラザや保健センターにおいて、月1回フレイル予防相談も行っております。

このほか、一人でも手軽にできる運動として、ウォーキングを生活の中

に取り入れ、運動習慣の定着を推進するため「つくば市ウォーキングコース」というマップを作成し、いきいきプラザや交流センターなどで配布するとともに、市ホームページにも掲載しております。また、「つくばウォークの日」という市役所庁舎周辺などを歩くイベントを年度内に5回程度実施しています。

○酒井会長：萩原委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○萩原委員：わかりました。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料1（事前質問No.7）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○スポーツ振興課：障害者におけるトレーニングジムなどの民間施設とのマッチングについては、現在、事業として実施していません。

当課においては、筑波大学の澤江准教授のご協力の下、障害のある方が地域のトレーニングジムを利用する体験会を実施し、運動習慣の定着を支援する取組を開催しているところですが、体験会に至る前に面談をして当日の恐怖感を低減させたり、体験会のスタッフを固定化させたりして、なるべく障害のある人の混乱を少なくするよう工夫しています。

こうした工夫があって初めてマッチングできている現状から、障害のある方と民間施設のマッチングについては、障害の状況によっては決して手軽とは言えないと考えます。しかしながら、こうしたマッチングの仕組みが事業として確立する可能性について、検討していきたいと思えます。

○酒井会長：あさの委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○あさの委員：少ない人数かもしれないですけど、学校を卒業して作業所などに通う人は毎年いらっしゃるわけなので、卒業のタイミングでなるべく

引き続きスポーツにつなげられるようにしていただきたいと思います。

働き始めたり施設に入ったりして数年経つと、もう1回スポーツを習慣化することは大変なので、卒業するその時点での働きかけをお願いしたいと思います。

○酒井会長：では次に進みます。基本戦略2「スポーツ推進体制の強化」について、事務局からよろしくお願いいたします。

<議事資料2により事務局から説明>

○酒井会長：この部分については事前質問がありませんが、この場で特に質問しておきたいこと等ございますか。ないようですので次に進みます。

基本戦略3「スポーツ環境の整備・充実」について、事務局からよろしくお願いいたします。

<議事資料2により事務局から説明>

<当日配付資料1（事前質問No.8）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○地域支援課：地域交流センターでは、卓球やヨガ、太極拳、グランドゴルフ、ダンスなどのスポーツ系のサークル団体なども活発に活動しています。使用場所については、多目的ホールや会議室、屋外の芝生広場など、それぞれの活動内容に応じて施設を使用しています。

現段階では、施設の老朽化による修繕や改修等が課題となっており、スポーツができるような改修については難しいと考えます。

○酒井会長：萩原委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○萩原委員：年間利用者数は16ヶ所で41万8,000人と、ものすごく多くの市

民が利用されています。ただ、申し込みが殺到し、朝早くから並ばなければ予約が取れないことに対して、手だてを考えていただかなくてははいけません。

そして、これだけの人数が利用しているところをリニューアルし、スポーツをもう少し気軽にできないかと感じています。同時に、人口動態等を見て、交流センターを増設するような計画があるかお聞かせください。

○地域支援課：現段階では、新しく設置する予定はございません。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料1（事前質問No.9）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○スポーツ施設課：みどりのプールにおける昨年度の専用利用については、会議室は3団体で各1回ずつ、トレーニングルームは3団体がそれぞれ3回、1回、1回、プールのレーン貸しは2団体が各1回ずつの利用でした。

今後の方針については、人気の定着を図るために指定管理者と一緒に考えていきたいと思っています。

○酒井会長：あさの委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○あさの委員：例えば、スポーツのイベントをやりたくても、予約が1ヶ月前からなので、告知するのに十分な期間が取れないことが支障となっているようです。早く予約できるようにすることで、多くの方にイベントを周知し、多くの方に施設を使って欲しいと思いますがいかがでしょうか。

○スポーツ施設課：オープンして1年経ちましたので、利用実績等から検討することと併せて、1ヶ月前からの予約についても検討したいと思っています。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料 1（事前質問No.10）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○教育施設課：令和6年度に供用開始したみどりのプールを活用して、今年度は11校のプール授業を行っていますが、学校プールの劣化状況に応じて活用する学校を追加していきます。

　　今後は、洞峰公園といった公共施設を活用できないか、関係各課と協議し進めていきます。

○酒井会長：あさの委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○あさの委員：かなり傷んでいる学校プールがあるのですが、それらの修理は粛々と行っていくという理解でよろしいですか。

○教育施設課：自校でプールの授業を行う学校については、改修を検討していきます。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料 1（事前質問No.11）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署から回答をお願いします。

○スポーツ施設課：予定している競技場は公認4種を取得する予定であり、競技会や記録会を合わせて年10回程度の開催を想定しています。

　　次に、概算工事費41億4,100万円の主な内訳については、競技場本体が約21億3,000万円、多目的広場が約1億円、その他電気設備や排水設備等が約11億円、上郷高校の解体撤去費用が約7億8,000万円となっており、これらは陸上競技場整備基本計画の概算工事費を元にお答えしています。

　　また、今後の年間維持管理費9,000万円の詳細についても、基本計画に

基づいたものになり、受付・管理・清掃費が約 3,300 万円、トラック・インフィールドの維持管理費が 1,000 万円、植栽関係の維持管理費が約 3,700 万円、修繕費が 120 万円、光熱水費が 500 万円、保守点検費が 80 万円程度を想定しています。

完成後の使用料については、今後の検討事項となりますが、現時点ではネーミングライツの導入や民間事業者等への賃貸料、広告スペースの販売などによる収入を考えています。

最後に、主に陸上競技大会の開催時に予測される懸念事項としては、大きく騒音と光害が考えられるかと思えます。騒音については、陸上競技大会では大きな音はあまりないと想定していますが、サッカーの大会等で使用する場合は、応援の太鼓などの使用時間を制限します。放送設備についても、音が拡散しにくいスピーカーを使うなどを検討しています。光害については、グラウンド面に必要な光を当てられるよう維持しながら、周辺に光が漏れにくい LED 照明を導入することを検討しています。

○酒井会長：石黒委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○石黒委員：年 10 回ほどということでしたが、それを実施するにあたって 41 億円という市民の税金を使うのは、もう 1 回考えて欲しいと思います。

○酒井会長：では、次の事前質問を読み上げてください。

<当日配付資料 1（事前質問No.12）について事務局から読み上げ>

○酒井会長：担当部署からそれぞれ回答をお願いします。

○スポーツ施設課：所管している体育館等については、令和 3 年 3 月に中長期的な視点で計画的に施設を保全するため、つくば市スポーツ施設個別施設計画を策定しています。当該計画においては、既存施設について長寿命化

改修を行いながら維持していくこととしています。また、新設新規のスポーツ施設については、陸上競技場の整備を予定しています。

○公園・施設課：市内 155 公園を対象に公園施設長寿命化計画を定め、野球場 テニスコート等 135 の運動施設を含む公園施設の計画的な補修、改修改築更新を行っているところです。

○酒井会長：萩原委員、担当部署の説明に対して質問や意見はございますか。

○萩原委員：施設を持っていることは財産になるし、長所でもあるのだけれども、欠点でもあるのですよね。耐久年数が経ってしまっている建物があるのだから、トリアージは是非やっていただきたいと思います。

しかし、人口動態を考えれば、スクラップをただで済む方策を考えざるを得ないような場所は否応なしに出てきてしまいます。だからこそ、余計に早めにどこをスクラップするのか。補修だけに無駄なお金を投入しなくてもいいような場所がいっぱい出てきているのです。それをどのように評価して、そして市民の皆さんに説明をしながらスクラップをしていくか。これは否応なしにも迫られており、もう現実です。その現実は逃さないでいただきたい。早めにトリアージしていただくことをお願いしたいと思います。

○酒井会長：事前にいただいている質問はここまでですが、特に質問しておきたいこと等ございますか。

○あさの委員：体育館等の体育施設全体のエアコン設置について、国も少しずつ補助を出すことにはなっているとお聞きしていますが、つくば市としての全体の計画がありましたら、ここでお知らせください。

○スポーツ施設課：所管している体育館については、今年度は大穂体育館への空調設備の設置工事を行う予定になっています。来年度、筑波総合体育館での設置に向けて設計を行っているところです。

今後については、年度ごとに 1 施設を目途とし、設置工事を進めていき

たいと考えており、個々の施設における老朽化の状況のほか、屋根や外壁の断熱改修等も含め、施設の選定をしながら設置を進めていきたいと考えています。

○酒井会長：年度で1つずつでしょうか。

○スポーツ施設課：補足させていただきます。正直、すぐにでも全てやりたいのですが、工事には半年以上かかってしまいますので、その間、体育館を同時に止めてしまいますと利用者にかかなりの制限がかかってしまいます。ですので、暑くて危険なので早くしたい気持ちがありつつも、年間1施設ぐらいつつ進めていく予定とさせていただいています。

○酒井会長：我々の立場とすると危ないですからね。事情はわかりますけどよろしくをお願いします。

このメンバーの任期期間中の推進審議会は今日が最後になると思いますので、ご発言になっていない委員の先生方、全体通して何かございましたら、ご発言いただければと思います。

齊藤委員、いかがでしょうか。

○齊藤委員：障害者のところを中心にみてまいりました。当初に比べていろいろな意味でプログラムが進んできていることを実感しています。ここで出されている施策それぞれが、体験でとどまるのではなく定着に移行するため、次のステップとしての施策をこれから考えていけるといいと思います。ちょうど入口でいろいろなものが動き出したと認識しておりますので、その次にうまく進んでいくことを願っています。

○酒井会長：今日、初めてのご参加ですけども四位委員いかがですか。

○四位委員：中学校体育連盟では、総合体育大会が6月、新人体育大会が9月ということで、施設を使うに当たっての暑熱対策が子どもの命に関わるところで、大会日程があまり変わらない。種目や競技が削減されてきている現状はありますが、全国、関東、県、県南そして市というような流れがあり

ますので、上が変わらないとなかなか変わらないし、子どもたちもそこを目指してやっているところもあります。今のお話は十分わかりますが、学校の空調設備等も合わせて、子どもたちの安心安全を第一に考え、そして安全な場でスポーツに集中できる環境を是非お願いしたいと思っています。

○酒井会長：片岡委員、いかがでしょうか。

○片岡委員：この審議会に関わらせていただきありがとうございます。大変素晴らしい推進計画だと思っています。ここまで地方自治体として進められているところは他にないのではないかと、というくらい素晴らしいものだと思います。本日、いろいろな課題、これからの課題も上がってきたと思いますけれども、つくば市が全国にリーダーとして示せるようなものなのではないかと思っています。

○酒井会長：木村一男委員、いかがでしょうか。

○木村(一)委員：引き続き良い方向に進めていただきたいと思います。

○酒井会長：根本委員、いかがでしょうか。

○根本委員：行政の立場から、福祉部として委員の皆様のお話を聞かせていただいておりますが、私の所管ですと、高齢者、障害者のスポーツが挙げられています。各委員からお話がありました、横の繋がりが大事ということに身に染みて感じており、引き続き庁内で検討したいと思っています。

○酒井会長：野村委員、いかがでしょうか。

○野村委員：みどりのプールの利用者が伸びないという話ですが、完成時、私も含めて近隣住民の間で話題になったこととして、行きづらい場所にあるということをよく聞きました。ですので、それでも行きたいと思えるイベントなどが整ったら嬉しいと思いました。

○酒井会長：最後に私からですが、この会長の役を4年間させていただき、非常に勉強させていただきました。特に、スポーツ振興課の皆さんを始め、今

回の事業評価に関しても、すごくバージョンアップされたと思っている次第です。皆さんに助けられ、4年間しっかりできたと思っています。感謝しています。

今回でこの役は卒業させていただこうと思いますが、お礼を申し上げまして、進行を事務局の方にお渡ししたいと思います。

5. その他

○事務局：酒井会長、議事進行ありがとうございました。

事務局の方から、その他について連絡がございます。

<当日配付資料2により事務局から報告>

<委員任期について事務局から連絡>

6. 閉会

○事務局：皆様、長時間にわたりご審議ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして令和7年度第1回つくば市スポーツ推進審議会を閉会いたします。

なお、次回のスポーツ推進審議会は、新たな任期、新たな委員となりまして、冬ごろの開催を予定しております。詳細につきましては改めてお知らせいたします。

本日はありがとうございました。

以上

令和7年度第1回つくば市スポーツ推進審議会次第

日時：令和7年7月22日(火) 14時00分から

場所：つくば市役所 202会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 会長あいさつ

4 議 事

第2次つくば市スポーツ推進計画における令和6年度実績評価について

5 その他

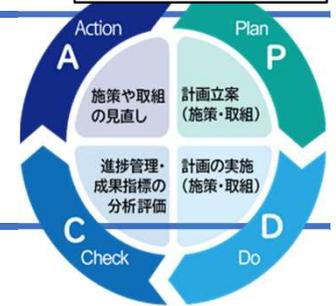
6 閉 会

【配付資料】

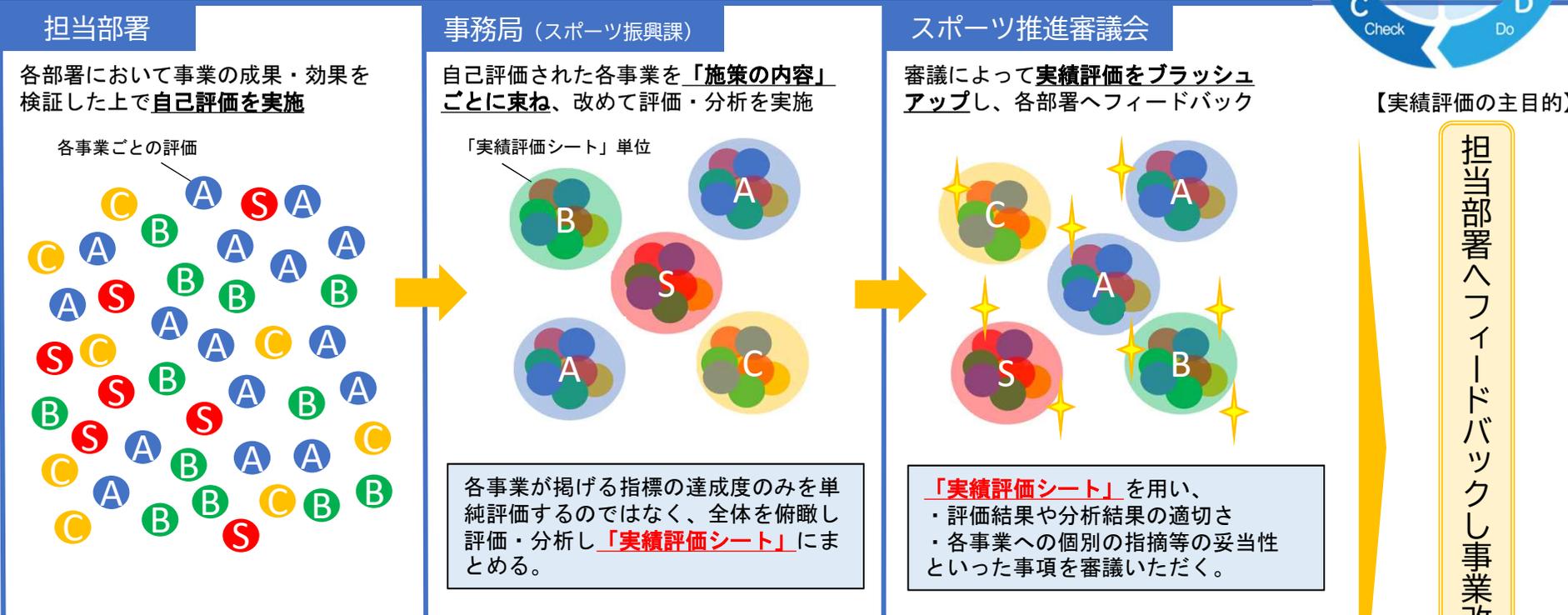
- ・ 次第（本紙）
- ・ 議事資料1 第2次つくば市スポーツ推進計画における実績評価の流れ
- ・ 議事資料2 第2次つくば市スポーツ推進計画 令和6年度実績評価シート
- ・ 参考資料 つくば市スポーツ推進審議会 委員名簿

第2次つくば市スポーツ推進計画における実績評価の流れ

- ◎ 本計画に紐づく各事業の実施においては、**年度ごとにPDCAサイクルを回す**ことで実効性を確保することとしている。
- ◎ PDCAサイクルのうち実績評価(Check)については、**スポーツ推進審議会における審議**を経ることによって、有識者や市民といった**第三者の多様な視点**を踏まえた上で、各事業の改善を促す。



【実績評価の主目的】



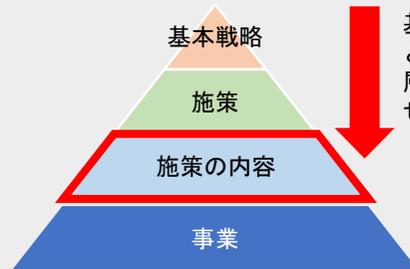
担当部署へフィードバックし事業改善を促す

89事業を自己評価



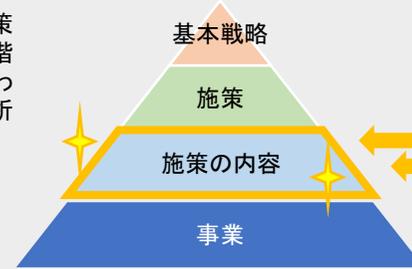
体系イメージ図 (数字は各項目数)

23項目を実績評価



基本戦略や施策といった上位階層と照らし合わせて評価・分析

23項目をブラッシュアップ



有識者や市民の視点でブラッシュアップ

第2次つくば市スポーツ推進計画における実績評価の流れ

- 「実績評価シート」の大まかな構成は、各事業の担当部署による**自己評価**が列挙され、最下部に総括した**実績評価**となっている。

自己評価の各項目

どのような活動を実施したかについて、場所・日時・数値などの情報を用い、できる限り具体的に記載しています。

活動実績

どのような成果や効果もたらされたかについて、場所・日時・数値などの情報を用い、できる限り具体的に記載しています。

成果・効果

各担当が把握している課題感や、その課題の解決に向けた令和7年度以降の方向性が定まっている場合は記載しています。

課題・今後の取組

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6				R7
47	スポーツ推進委員協議会の組織及び研修	【事業目的】 スポーツ推進委員の活動の促進と資質の向上を図り、地域スポーツ活動の指導者として市民のスポーツ活動の活性化に貢献するため。	63名のスポーツ推進委員との連携の下、地域におけるスポーツの振興を図るとともに、本市のスポーツ事業への協力や研修会への出席等によって各委員の資質向上を図った。	13	13	目標値		28	29	市の研修会のみならず、県や県の研修会も含め延べ83名が受講した。また、各種研修会で得た知見を発揮する場として、つくばマラソンを始めとした本市のスポーツ事業に対し延べ143名に協力いただいた。	若男女の多様な市民がスポーツを楽しむ実情と同様に、スポーツ推進委員における性別や年齢といった諸要素においても、多様性を担保するための方策を検討していく。	A
(63)	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツ推進委員を任命し、スポーツ推進委員協議会を組織し、研修をとおしてスポーツの指導者や障害者スポーツの知識を学び、市や地域のスポーツ事業や地域のスポーツボランティア活動に生かす。			13	実績値	27	20			研修会の参加者は目標値をきっかけに、障害者を対象とした体験講座への協力につながることができたため、評価を上げた。	

決算額

予算額に対応した決算(見込み)額を記載することで、事業規模や執行割合が把握できるようにしています。

※ 事業費が明確にできないものは未記載

実績値

事業ごとに評価基準となる指標を設定しており、基本的には目標値に対する達成度で評価します。

担当評価・評価理由

下表の基準で評価していますが、特段の理由で評価を上下させる場合は理由を記載しています。

※ 評価基準どおりの場合は未記載

担当評価	評価基準
S	順調に進んでいる(指標の達成度が100%以上である)
A	概ね順調に進んでいる(指標の達成度が80%以上100%未満である)
B	やや遅れている、改善事項がある (指標の達成度が60%以上80%未満である)
C	遅れている、大幅な改善事項がある (指標の達成度が60%未満である)

・「実績評価シート」の大まかな構成は、各事業の担当部署による**自己評価**が列挙され、最下部に総括した**実績評価**となっている。

実績評価の各項目

評価に至った分析結果を端的に記載しています。

評価結果の分析等

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策1(1)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。 ・ 過半数の事業が順調と評価されている一方で、体育授業の充実や児童・生徒の体力向上といった取組においては更なる充実の余地があると考えられる。</p> <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業2 → 希望制ではあったものの達成度は半数を下回ったことから、今後は制度の周知を進めつつも、本事業が単なる体力向上にとどまらずスポーツを親しむ動機づけとなるよう創意工夫していただきたい。 ・ 事業4 → 今後の取組に記載されているように、本事業を積極的に周知することで、充実した体育授業が各学校で展開される体制を構築いただきたい。 ・ 事業8 → 体育授業に係る知見を有する大学等との連携は大切であり、専門家からの助言を十分に活用いただきたい。

評価結果

全ての事業を俯瞰し、望ましい方向性と照らし合わせて総合的に評価しています。

各事業への個別の指摘等

評価の良否に関わらず、各事業における固有の課題や社会情勢などを踏まえた指摘等を記載しています。

※ 一部の事業に対して記載

本審議会においては、

- ◎ 評価結果や分析結果が適当であるか（評価を上下させる必要はないか）
 - ◎ 各事業への個別の指摘等が妥当であるか（新たに指摘することはないか） など
- を御審議いただき、「実績評価シート」をブラッシュアップした上で各部署へフィードバックします。

第2次つくば市スポーツ推進計画 令和6年度実績評価シート

令和7年7月22日
第1回つくば市スポーツ推進審議会



第2次つくば市スポーツ推進計画 令和6年度実績評価(一覧)

基本戦略	施策	施策の内容	評価結果	ページ
1 スポーツ機会の創出	施策1 子どものスポーツ活動の促進	(1) 学校教育を通じたスポーツ活動	A	2~3
		(2) 地域と連携したスポーツ活動【重点取組2】	A	4~5
	施策2 高齢者のスポーツ活動の促進	(3) 健康づくりに役立つスポーツ活動	B	6
		(4) 交流や生きがいづくりにつながるスポーツ活動	A	7
	施策3 障害者のスポーツ活動の促進	(5) スポーツ環境の向上と認知度向上【重点取組1】	A	8~9
		(6) スポーツ活動を支える仕組みづくり【重点取組1】	A	10
	施策4 成人のスポーツ活動の促進	(7) 気軽に取り組めるスポーツ活動	B	11
		(8) 仲間づくりや地域活動につながるスポーツ活動	B	12
	施策5 スポーツをやる機会の提供	(9) すべての市民に向けた運動・スポーツをやる機会の提供	B	13~14
		(10) スポーツ情報にふれる機会の拡充	S	15~16
		(11) つくば市らしいスポーツ文化の創出	A	17~18
2 スポーツ推進体制の強化	施策6 スポーツ団体・組織の基盤強化及び指導者等の育成	(1) スポーツ団体・組織の支援【重点取組2】	A	19~20
		(2) 指導者の養成と地域リーダーの育成【重点取組2】	A	21~22
	施策7 多様な主体との連携・協働	(3) 多様な主体との連携	A	23~24
		(4) 諮問機関における調査・審議	A	25
		(5) 多様な連携を通じた啓発活動【重点取組2】	A	26
3 スポーツ環境の整備・充実	施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理	(1) 整備及び維持管理【重点取組3】	A	27~29
		(2) バリアフリー化の推進【重点取組1・3】	B	30~31
		(3) 利便性の向上【重点取組3】	A	32
	施策9 スポーツ環境の整備	(4) 地域特性をいかしたスポーツ環境の充実【重点取組3】	S	33~34
		(5) スポーツツーリズムの推進	B	35~36
	施策10 スポーツ活動における安全の確保	(6) スポーツ活動における安全教育の推進【重点取組2】	A	37~38
		(7) スポーツ事故・障害の予防等に係る啓発	B	39

施策1 子どものスポーツ活動の促進【推進計画P43】

(1) 学校教育を通じたスポーツ活動

①	子どものスポーツ活動が豊かなものとなるよう、学校体育の授業などを通して児童生徒の体力と運動能力向上に努め、健康な体づくりや競技スポーツへの取組支援を行うとともに、「スポーツが好きな子ども」の育成や、将来夢をもつことの大切さ、スポーツに親しむことの動機づけにつなげるための取組を行い、子どもの成長などに合わせたスポーツ活動を促進します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標1	児童生徒の週3回以上のスポーツ実施率	小5：44.4% 中2：65.9% 高2：53.4%	小5：54% 中2：75% 高2：63%
		指標2	卒業後にも運動やスポーツをしたいと思う児童の割合	小5：66.0% 中2：68.4% 高2：68.1%	小5：80% 中2：80% 高2：80%

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由		
				予算額	決算額	指標名	R5	R6				R7	
1 (13)	全国大会・関東大会出場補助事業 教育総務課	【事業目的】 全国大会及び関東大会へ出場する児童生徒の練習意欲の向上並びに児童生徒の保護者の費用負担の軽減を図るため 【事業概要】 全国及び関東各種スポーツ大会に出場する児童・生徒に対して補助・支援を行う。	76件の事業に対して、合計5,383千円の補助金を交付することで支援した。	3,600	5,383	補助金交付対象者数(件)	目標値 41	41	41	補助金の交付によって、全国大会及び関東大会へ出場する児童生徒の保護者の費用負担の軽減を図ることができた。	中学校では部活動の地域展開が進んでおり、将来を見据えた補助金の在り方を検討する必要がある。	S	
2 (14)	児童・生徒の体力の向上 学び推進課	【事業目的】 児童・生徒の体力の向上のため。 【事業概要】 各学校で児童・生徒の体力向上のための取組を行う。また、茨城県の体力アップ関連事業と連携する。	市内の小学校より7校の参加があった。希望制で挑戦し、記録を専用ホームページに登録した。	-	-	スポーツチャレンジ参加校(校)	目標値 8	15	15	希望制であり、7校が参加した。児童生徒の運動への関心や体力の向上につながったと考えられる。	体力運動能力テストにおいて投力が課題となっており、スポーツチャレンジの中で投力種目の一つである「キャッチボールマスター」の参加が伸びた。しかしながら、学校に偏りがあるため、多くの学校に広めていきたい。	C	
3 (15)	体力テストの実施 健康教育課	【事業目的】 児童生徒の健康の保持増進と体力の向上の必要性について、理解を深めるとともに、体育の指導の改善とその充実に資するため。 【事業概要】 小学校及び中学校で体力テストを実施し、その結果を学校体育施策に活用する。また、子どもの体力・運動能力の向上に役立てる。	市内全ての学校において体力テストを実施し、全児童生徒の93%に当たる21,231名が全ての項目を実施した。集計結果を茨城県に報告するとともに、各学校に分析結果を報告した。	3,063	2,600	体力テスト参加人数(人)	目標値 22,428	22,881	22,899	各学校において、児童生徒の運動能力の向上に向けた取組みの参考にすることができた。	体力テストの結果に基づき、各学校で、「体力アップ推進プラン」を作成し、体力・運動能力の向上に向けた取組を行う。	A	
4 (18)	体育授業への外部指導員等の派遣 学び推進課	【事業目的】 児童の体力向上と学校体育授業の活性化を図るため。 【事業概要】 体育授業に外部指導員やサポーター等を派遣し、児童・生徒の体力向上や体育授業の活性化を図る。	小学校2校(沼崎小、東小)から希望があり、サポーターによる支援により、体育授業がより充実したものになった。	-	-	県体育授業サポーター派遣(校)	目標値 3	4	4	2校に計9名の体育授業サポーターが派遣され、体づくり運動(雲梯・上り棒)、マット運動、陸上(走り幅跳び・ボール投げ等)、鉄棒運動、跳び箱運動、水泳等の授業がより充実したものになった。	器械運動や陸上運動等のより専門的な技能を必要とする単元で活用できるよう積極的に周知し、より多くの児童・生徒がサポートを受けられる体制を構築する。	活動指標の目標値を達成してはいないが、各学校につき2~3名のサポーターを派遣し、充実した体育授業を展開することができたため、評価を引き上げる。	B
5 (40)	つくば市小学校体育連盟との連携及び事業の補助 教育総務課	【事業目的】 小学校児童の体力の増進及び運動能力の向上を図るため 【事業概要】 市内の小中学生を対象につくば市小学校体育連盟が陸上記録会等を開催するために、必要な経費を補助する。	つくば市小学校体育連盟に対して、合計575千円の補助金を交付することで支援した。	575	575	陸上記録会出場校(校)	目標値 35	36	36	つくば市学園スポーツ交流会を開催し、小学校児童の体力の増進及び運動能力の向上に寄与した。また、補助金の交付により、スポーツ用品の整備が進んだ。	今後も補助金の交付により支援する。	S	

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由	
6	つくば市中学校体育連盟との連携及び事業の補助	【事業目的】 中学校体育の健全な普及発達を図るため	つくば市中学校体育連盟に対して、合計1,945千円の補助金を交付することで支援した。	予算額	2,087	市総合体育大会出場校(校)	目標値	/	18	18	陸上競技大会、総合体育大会、新人体育大会を開催し、つくば市中学校体育の健全な普及発達を図ることができた。また、補助金の交付により、スポーツ用品の整備が進んだ。	今後も補助金の交付により支援する。	S
(41)	教育総務課	【事業概要】 市内の中学生を対象につくば市中学校体育連盟が陸上競技大会、総合体育大会、新人体育大会等を開催するために、必要な経費を補助する。		決算額	1,945		実績値	17	18				
7	学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施	【事業目的】 体育・スポーツの指導充実を図るため。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内全校の教職員が参加した。	予算額	-	体育実技講習会(参加人数)	目標値	/	45	50	研修会が学校においてすぐ実践できる内容であったため、研修会後に体育の授業に取り入れ、質の向上を図ることができた。また、多くの学校では、研修参加者が研修の内容を校内において共有することで、教職員全体への質の向上を図ることができた。	取組継続	S
(65)	学び推進課	【事業概要】 学校の教員のために体育・スポーツに関する指導者研修会を実施する。		決算額	-		実績値	48	50				
8	学校体育コーディネイト事業	【事業目的】 体育、保健体育指導の充実と教員の資質の向上を図るため。	県事業の体育授業アドバイザー派遣により真瀬小学校、大曾根小学校、東小学校で活用した。	予算額	-	県体育授業アドバイザー派遣(校)	目標値	/	5	5	県事業の体育授業アドバイザー派遣を真瀬小学校、大曾根小学校、東小学校で活用し、体育授業の授業力向上に繋がりが、子どもの運動技能の向上(マット運動・体つくり運動等)につながったと考えられる。	取組継続 継続して体育授業アドバイザー派遣の魅力を各学校へ周知していく必要がある。	A
(66)	学び推進課	【事業概要】 茨城県の体育授業アドバイザー派遣事業により、大学講師等の専門家から学校の教員に対して体育・スポーツに関する助言をもらう。		決算額	-		実績値	2	3				
9	学校体育関連事業との連携	【事業目的】 学校教育活動全体を通して体力アップを図るため。	体力運動能力テストの結果をもとにして、各校で取り組む課題を体力アップ推進プランを活用し、目標値を決めて取り組んだ。	予算額	-	体力アップ推進プラン(校)	目標値	/	45	50	小学校は投げる能力の向上を図るプランを、中学校は改善を図るポイントをしぼったプラン(反復横跳び、立ち幅跳び)を実施し、運動技能の向上を図った。	取組継続	S
(81)	学び推進課	【事業概要】 外部指導者派遣、児童・生徒の体力アップ推進プロジェクト、学校体育コーディネイト事業等、茨城県が実施している学校体育・スポーツに関する多様な事業との連携を図る。		決算額	-		実績値	48	50				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策1(1)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過半数の事業が順調と評価されている一方で、体育授業の充実や児童・生徒の体力向上といった取組においては更なる充実の余地があると考えられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業2 → 希望制ではあったものの達成度は半数を下回ったことから、今後は制度の周知を進めつつも、本事業が単なる体力向上にとどまらずスポーツを親しむ動機づけとなるよう創意工夫していただきたい。 事業4 → 今後の取組に記載されているように、本事業を積極的に周知することで、充実した体育授業が各学校で展開される体制を構築いただきたい。 事業8 → 体育授業に係る知見を有する大学等との連携は大切であり、専門家からの助言を十分に活用いただきたい。

施策1 子どものスポーツ活動の促進【推進計画P43】

(2) 地域と連携したスポーツ活動【重点取組2】

②	子どものスポーツ活動を支えてきた学校部活動においては、ニーズの多様化や教員の働き方改革を見据えつつ運動時間を確保し、安心してスポーツに取り組めるよう、各学校の実情に合わせながら、地域のスポーツクラブ、企業等、地域と連携して段階的な地域移行を推進します。	成果指標			R4(現況値)	R15(目標値)
		指標1	児童生徒の週3回以上のスポーツ実施率		小5：44.4% 中2：65.9% 高2：53.4%	小5：54% 中2：75% 高2：63%
③	地域連携のもと、幼児期から学童期、青年期まで、スポーツの習慣化につながるよう、体を動かすことの楽しさを体験できる機会を提供するなど、子どもが安全に楽しく運動やスポーツに取り組める環境の充実を図ります。	指標2	卒業後にも運動やスポーツをしたいと思う児童の割合		小5：66.0% 中2：68.4% 高2：68.1%	小5：80% 中2：80% 高2：80%

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題 今後の取組	担当評価		
				予算額	決算額	指標名	R5	R6			R7	評価理由	
再掲 8 (66)	学校体育コーディネーター事業	【事業目的】 体育、保健体育指導の充実と教員の資質の向上を図るため。	県事業の体育授業アドバイザー派遣により真瀬小学校、大曽根小学校、東小学校で活用した。	予算額	-	県体育授業アドバイザー派遣(校)	目標値	/	5	5	県事業の体育授業アドバイザー派遣を真瀬小学校、大曽根小学校、東小学校で活用し、体育授業の授業力向上に繋がり、子どもの運動技能の向上(マット運動・体づくり運動等)につながったと考えられる。	取組継続 継続して体育授業アドバイザー派遣の魅力を各学校へ周知していく必要がある。	A 実施校がR5の2校から3校へ上昇したこと、また活動内容が充実しており、教員の質の向上を図ることができたため評価を引き上げる。
	学び推進課	【事業概要】 茨城県の体育授業アドバイザー派遣事業により、大学講師等の専門家から学校の教員に対して体育・スポーツに関する助言をもらう。		決算額	-		実績値	2	3				
再掲 9 (81)	学校体育関連事業との連携	【事業目的】 学校教育活動全体を通して体力アップを図るため。	体力運動能力テストの結果をもとにして、各校で取り組む課題を体力アップ推進プランを活用し、目標値を決めて取り組んだ。	予算額	-	体力アップ推進プラン(校)	目標値	/	45	50	小学校は上げる能力の向上を図るプランを、中学校は改善を図るポイントをしぼったプラン(反復横跳び、立ち幅跳び)を実施し、運動技能の向上を図った。	取組継続	S
	学び推進課	【事業概要】 外部指導者派遣、児童・生徒の体力アップ推進プロジェクト、学校体育コーディネーター事業等、茨城県が実施している学校体育・スポーツに関する多様な事業との連携を図る。		決算額	-		実績値	48	50				
10 (11)	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	【事業目的】 部活動用消耗品の充実、大会参加に伴う学校・会場間の生徒移動用バス賃貸借費用の保護者負担軽減。	ラインパウダーやボールなどの消耗品購入、陸上記録会や総合体育大会参加のため、移動用バス賃貸借を実施。	予算額	48,560		目標値	/	-	-	各学校で必要とする消耗品の購入を行った。バス賃貸借は、2校での乗合やピストン輸送などで、台数削減を行い、効率化に努めた。	バスの運転手不足や費用増額の対応策として、バス1台を効率的に活用できるよう努める。	- 大会への参加状況により仕様等が異なるため、評価できない。
	学務課	【事業概要】 中学校の運動部活動の用具購入費、修繕費、大会参加のためのバス賃借料などの費用を支援するなどして、運動部活動の環境の整備を図る。		決算額	47,901		実績値	-	-				
11 (12)	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	【事業目的】 部活動指導の支援・充実を図るため。	部活動指導員を14校、25名を25部活に配置。	予算額	12,063	部活動指導員派遣事業(人数)	目標値	/	25	25	つくば市の運動部活動指導員の配置予定人数25名のところ、25名を配置することができた。顧問教員の負担軽減につながったと考えられる。	補助金の関係上、年度末2月までの活用となっているが、持ち出しで予算を組み、3月末までの活用を目指す。	S
	学び推進課	【事業概要】 中学校の運動部活動の用具購入費、修繕費、大会参加のためのバス賃借料などの費用を支援するなどして、運動部活動の環境の整備を図る。		決算額	10,796		実績値	28	25				
12 (16)	放課後子ども教室の推進	【事業目的】 児童が放課後安全・安心に過ごすための多様な居場所づくりを推進するため	実施回数585回のうち参加児童は延べ17,851人、地域ボランティア(地域コーディネーター・教育活動推進員・教育活動サポーター)2,585人。実施を希望する市内25か所の小学校及び義務教育学校、こども育成課で企画運営する市内4か所の交流ひろばで放課後子供教室を開催した。そのうちスポーツに関するプログラムとしては、キッズダンスやなわとび、スポーツ鬼ごっこ、バラスポーツなどを実施。※令和6年度スポーツに関する活動は全585回のうち36回実施し、参加児童数は1,183人、地域ボランティアの人数は267人。	予算額	10,534	実施回数(回)	目標値	/	618	646	スポーツの分野で活躍する地域人材を講師(教育活動推進員)とし、教育活動サポーターの見守りの下、子どもたちは安全に楽しくスポーツに取り組むことができた。	スポーツ関連のプログラムを実施するには、体育館等の広い活動場所の確保が必要になるため、学校との調整状況によっては実施が難しい場合もあるが、引き続き実施に当たっては教育活動サポーターを不足なく配置するとともに、学校や講師との事前打合せを入念に行い、安全面等に充分配慮した活動を今後も行っていく。	A
	こども育成課	【事業概要】 市内の小学生を対象に放課後子ども教室を実施し、スポーツ活動や文化活動などの体験活動や地域の住民との交流活動を行う。		決算額	10,169		実績値	557	585				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
13	放課後児童クラブの育成・支援	【事業目的】 児童の健全育成を図るため	桜総合体育館において、児童館を利用する児童(2~4年生)を対象としたつくば市立児童館交流ドッジボール大会を令和7年1月25日に実施。17児童館30チーム、計275名の児童が参加した。	110	110	参加人数(人)	目標値	300	300	各館、5~8か月の練習を通して仲間との絆、目標に向かって努力することの大切さを学び、大会を通して多くの人との交流をすることができた。	児童館交流として実施しているが、サテライト施設や児童クラブへの拡大を検討する。	A
(17)	こども育成課	【事業概要】 小学校や児童館の体育・スポーツ施設を利用して、児童館利用者や放課後児童クラブ員に遊びの場を提供し、児童の健全育成を図る。また、放課後児童クラブ施設を整備する。				実績値	258	275				
14	スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施	【事業目的】 参加者がスポーツに触れる機会を提供する。	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024において、スポーツ体験ブースを企業、スポーツチーム、つくば市推進委員が出展し、各スポーツのPR活動を行った。 ・出展団体 13団体	1,186	983	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値	1,000	1,000	参加者の継続的なスポーツ活動に繋げるため、出展者に積極的なPR活動を促したことで運営も活発化した。	イベント参加者が減少しているため、イベントの周知方法の見直しを行う。	A
(19)	スポーツ振興課	【事業概要】 つくばスポーツフェスティバル&つくばパラにおいて、市内等で活動している団体に参加してもらい、各スポーツのPRを行う。				実績値	1,173	866				
15	中学校武道等指導推進	【事業目的】 中学校における武道等の指導を充実させるため。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内1校の教職員が武道等参加した。	-	-	武道等講習会参加人数(人)	目標値	8	8	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会に参加したことをもとに部活指導に生かした。	取組継続	C
(71)	学び推進課	【事業概要】 中学校の武道等の指導を推進し、安全指導を徹底するために、外部指導者の派遣支援を行う。				実績値	1	1				
16	障害者スポーツ体験出前教室	【事業目的】 出前教室を実施することで、児童生徒や先生の障害者スポーツに関する認知度や理解を深めることを期待する。	令和7年度から実施	令和7年度から実施	0	参加人数(人)	目標値	-	800	令和7年度から実施	-	-
新規	スポーツ振興課	【事業概要】 希望のあった学校へ障害者スポーツに関する専門的な知識のある団体を派遣し、参加・体験型の出前教室を行う				実績値	-	-				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策1(2)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未実施の事業や指標の達成度が著しく低い事業があるものの、過半数の事業が順調もしくは概ね順調に進んでいる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業8 → 体育授業に係る知見を有する大学等との連携は大切であり、専門家からの助言を十分に活用いただきたい。【再掲】 ・ 事業10・11 → 部活動の地域展開に係る検討を進めるに当たっては、展開後の望ましい支援の在り方についても議論を深めていただきたい。 ・ 事業15 → 武道の学習効果は身体的・精神的な成長のみならず、我が国独自の文化や価値観への理解増進にも及ぶ点を勘案し、指導に当たる教職員が積極的に研修会へ参加するよう働きかけを行っていただきたい。

施策2 高齢者のスポーツ活動の促進【推進計画P44】

(3) 健康づくりに役立つスポーツ活動

①	生涯にわたって健康や体力の保持増進につなげていけるよう、簡単に取り組める軽運動・ストレッチなどのプログラムの提供や、専門指導者による出前健康教室等を開催するなど、高齢者が運動できる機会を提供します。また、自宅等で気軽に運動したい人に向けては、動画配信等を活用した取組などを推進します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標3	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	55.10%	70%以上
②	高齢者の介護予防や認知機能の低下予防のほか、孤立防止や活力増進が期待されるeスポーツ等の新たな技術やサービスの活用について、関連団体と連携しながら検討します。	指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	56.80%	80%以上

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
17	65歳以上のいきいきプラザ運動教室	【事業目的】 65歳以上の高齢者が運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、要介護状態への移行を予防するため。 【事業概要】 健康増進施設いきいきプラザにて、65歳以上を対象に、年齢と運動強度でクラスを分けて、運動指導、体力測定、栄養指導を実施する。 いきいき運動教室:65~74歳まで 元気はつらつ運動教室:75歳以上	いきいきプラザのアリーナで、7クラスの運動教室(延べ301回)を開催した。	9,915	9,744	65歳以上のいきいきプラザ運動教室参加実人数(人)	目標値	200	200	区会回覧や市報、X、各事業でのチラシ配布等の広報活動を行った。延6,573人が参加した。	いきいき運動教室は5年卒業制度による卒業や年齢によるコース変更があり、参加者が減少しやすい傾向がある。	A
(22)	健康増進課					192	実績値	213				実参加人数は指標を上回ったが、5年卒業制度による卒業や年齢によるコース変更による参加者の減少もあるため評価を引き下げた。
18	65歳未満を含む出前健康教室	【事業目的】 40歳から運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、早期から介護予防を行うため。 【事業概要】 地区の集会所等を利用して、出前健康教室として、65歳未満を含む健康体操教室を実施する。	市内の集会所等で行う健康体操教室(65歳未満も含む)や企業の会場等で行う企業連携教室、企画教室を開催した(延べ371回)。	10,454	9,198	65歳未満を含む出前健康教室参加実人数(65歳以上の団体以外)(人)	目標値	900	900	延べ3,209人が参加し、区会回覧や市報、ホームページ、X等の広報活動を行った結果、新規申込が2団体あった。	地域によって活動団体にばらつきがある。	A
(23)	健康増進課					514	実績値	587				指標の達成度は約65%だが、参加者の加齢とともに健康体操教室(65歳以上)に移行した団体もあるため評価を引き上げた。
19	65歳以上の出前健康教室	【事業目的】 65歳以上の高齢者が運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、要介護状態への移行を予防するため。 【事業概要】 地区の集会所等を利用して、65歳以上の高齢者を対象としたインストラクターやシルバーリハビリ体操指導士などによる体操を実施する。	市内の集会所等に出向いて行う健康体操教室(65歳以上)を開催した(延べ535回)。	21,184	17,577	65歳以上の出前健康教室参加実人数(65歳以上の団体)(人)	目標値	4,200	4,200	健康体操教室は延べ4,355人、シルバーハは延べ17,094人が参加した。区会回覧や市報、ホームページ、X等の広報活動を行った結果、新規申込が1団体あった。	地域によって活動団体にばらつきがある。	B
(69)	健康増進課					2,526	実績値	2,297				65歳以上の団体が高齢化等の理由により減少したが、団体の自主的な活動を促す等の活動継続支援を行えたため評価を引き上げた。

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策2(3)はやや遅れており、改善事項があることから、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業の担当評価では評価を引き上げているものの、出前健康教室における地域差が大局的な課題として存在しており、改善の余地がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業18・19 → スポーツの習慣化の観点から、住み慣れた地域において実施機会が提供される意義は大きいものの、課題である地域差の存在を座視することなく、活動が乏しい地域に対する方策の検討を進めていただきたい。

施策2 高齢者のスポーツ活動の促進【推進計画P44】

(4) 交流や生きがいづくりにつながるスポーツ活動

③	高齢者の健康づくりと交流の場として、年齢や健康状態、適性に合わせたスポーツ大会等を開催し、参加促進を図るとともに、多世代で楽しめるレクリエーションスポーツの普及・支援を図ります。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標3	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	55.10%	70%以上
④	高齢者がいきいきと地域で過ごせるよう、シルバークラブやスポーツ振興会等におけるスポーツ活動を支援するなど、スポーツを通じて生きがいや仲間づくりにつながる機会を提供します。	指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	56.80%	80%以上

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
					指標名	R5	R6				R7
19 (69)	65歳以上の出前健康教室 健康増進課	【事業目的】 65歳以上の高齢者が運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、要介護状態への移行を予防するため。 【事業概要】 地区の集会所等を利用して、65歳以上の高齢者を対象としたインストラクターやシルバーリハビリ体操指導士などによる体操を実施する。	市内の集会所等に向いて行う健康体操教室(65歳以上)を開催した(延べ535回)。	予算額 21,184 決算額 17,577	65歳以上の出前健康教室参加実人数(65歳以上の団体)(人)	目標値 4,200	実績値 2,526	R6 4,200	R7 2,297	健康体操教室は延べ4,355人、シルバーは延べ17,094人が参加した。区会回覧や市報、ホームページ、X等の広報活動を行った結果、新規申込が1団体あった。 地域によって活動団体にばらつきがある。	B 65歳以上の団体が高齢化等の理由により減少したが、団体の自主的な活動を促す等の活動継続支援を行えたため評価を引き上げた。
	20 (20)	いばらきねんりんスポーツつば市大会の開催 高齢福祉課	【事業目的】 高齢者に適したスポーツ競技を通じて健康の保持増進を図るとともに、地域間の交流を深め明るく活力ある長寿社会の増進に寄与することを目的とする。また、県大会へのつば市代表の選考会(予選)を兼ねている。 【事業概要】 茨城県健康福祉祭の一環として、いばらきねんりんスポーツつば市大会を開催する。	5月21日及び5月23日にグラウンドゴルフ予選会、6月4日につば市大会(ゲートボール、バタンク、輪投げ・グラウンドゴルフ)を開催した。グラウンドゴルフ予選会には362名が参加し、上位100名がつば市大会に進出、その他競技は149名が参加した。ゲートボール、バタンク、輪投げは上位2チーム、グラウンドゴルフは個人上位10名を県大会に推薦し、県大会では輪投げの部で4位入賞した。	予算額 1,671 決算額 1,507	参加者数(人)	目標値 550	実績値 508	R6 550	R7 511	団体競技は33チーム149名、個人競技は362名の参加者で盛況であった。高齢者が愛好するスポーツ競技を通じて、健康の保持増進や地域間の交流を深め、明るく活力ある長寿社会の増進に寄与することができた。 競技によって参加者数の差が大きいため、参加者の確保・増加を図っていく必要がある。全国大会出場者が出る年もあり、市として支援を検討していく必要がある。
21 (24)	シルバークラブでのスポーツ活動の促進 高齢福祉課	【事業目的】 能力に応じた社会参加活動を通じた、高齢者の生きがいづくりと健康の保持を図るため。 【事業概要】 地域の高齢者の生きがいと健康づくりのためにシルバークラブでのスポーツ活動を促進させる。	10月5日に研究学園駅前公園で開催されたおひさまサンサン生き生きまつりに、シルバークラブ会員が実行委員として参画し、高齢者や障害者(児)、市民、ボランティアによるスポーツ活動及びレクリエーション活動が行われた。また、12月13日には豊里体育館で高齢者に適したニュースポーツ競技を通じての交流会を開催した。	予算額 30,843 決算額 28,728	単位クラブ数(クラブ)	目標値 141	実績値 125	R6 141	R7 123	おひさまサンサン生き生きまつりの参加者数は795名(障害者や関係者含む)、ニュースポーツ交流会は70名で、高齢者の健康の保持増進を図るとともに、生きがいを高めることに寄与した。 シルバークラブの会員増加策について検討していく必要がある。友愛訪問活動等を通じて、未加入者への積極的な声掛け運動、広報紙等による広報活動を行い会員の加入促進に努める。	A

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策2(4)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出前健康教室における地域差の課題はあるものの、スポーツ大会への出場やシルバークラブにおける活動を通じ、高齢者の交流や生きがいにつながっている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業21 → 本市の高齢者数が漸増しているにもかかわらず、シルバークラブの会員数やクラブ数が伸び悩んでいる現状については、加入促進を図ることと併せて社会構造的な観点から分析を進めていただきたい。

施策3 障害者のスポーツ活動の促進【推進計画P45】

(5) スポーツ環境の向上と認知度向上【重点取組1】

①	障害者の有無にかかわらず、日常的にスポーツ施設を利用しやすい環境を整備するとともに、関連機関・団体と連携し、障害者が地域と交流する機会や健常者と共にスポーツができる機会の充実を図ります。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標5	障害者の週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションの実施率	38.30%	50%以上
②	すべての市民の障害者スポーツに関する認知度や興味を高めていくことを目指し、参加・体験型のスポーツイベントを実施して障害者の社会参画や交流を促進します。また、競技にフィーチャーしたイベントを行うなど、障害者スポーツの普及を図ります。				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6				R7
再掲 16	障害者スポーツ体験出前教室	【事業目的】 出前教室を実施することで、児童生徒や先生の障害者スポーツに関する認知度や理解を深めることを期待する。	令和7年度から実施	令和7年度から実施 予算額	0	参加人数(人)	目標値	-	800	令和7年度から実施	-	
新規	スポーツ振興課	【事業概要】 希望のあった学校へ障害者スポーツに関する専門的な知識のある団体を派遣し、参加・体験型の出前教室を行う		決算額	0		実績値	-	-			
22	障害者スポーツのイベントの実施	【事業目的】 市民の障害者スポーツに関する理解を深めることで、障害者スポーツの活動の促進を図るため。	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024の中で、障害者スポーツ体験ブース(車いすバスケット、卓球バレー、ゴールボール)を実施した。昨年度より、障害者スポーツ体験ブースを増やし参加者を増やすことができた。	予算額	1,186	障害者スポーツ体験ブースの参加者数(人)	目標値	500	500	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024障害者スポーツ体験ブース参加者数・車いすバスケット体験 159人・卓球バレー体験 275人・ゴールボール体験 232人延べ666名が参加した。	イベント当日の障害者スポーツの体験のみならず、イベント後の継続的なスポーツ活動の実施につながる取り組みを検討することで、障害者スポーツ実施率の向上に寄与する。	S
(25)	スポーツ振興課	【事業概要】 つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024の中で、障害者スポーツ体験ブース企画を実施し、市民に体験や観戦をしてもらう。		決算額	983		実績値	299	666			
23	障害者スポーツ体験教室の実施	【事業目的】 障害者スポーツを体験し、知ってもらう機会を提供し、障害者スポーツに対する知識や興味をもってもらうため。	令和7年2月に実施予定であったが、参加希望者が3名であったため、実施不可と判断し、中止とした。	予算額	212	障害者スポーツ体験教室参加者数(人)	目標値	20	20	特になし	障害者スポーツ体験出前教室(事業番号16)へ移行する。	C
(26)	スポーツ振興課	【事業概要】 障害者スポーツ教室を実施し、小学生以上のつくば市在住、在学、在勤の者を対象として障害者スポーツを体験してもらう。		決算額	0		実績値	17	0			
24	障害児運動教室の開催	【事業目的】 障害児の体力増強・交流・余暇活動等の充実を図るため。	健康増進施設いきいきプラザにて、計画どおり全10回開催した。	予算額	264	参加者数(人)	目標値	24	24	インストラクターの指導のもと、障害児の運動や交流、余暇活動の充実を図ることができた。	安全性を確保するため、プログラムの内容やスタッフの配置などの環境設定についてインストラクターと検討している。	S
(28)	障害者地域支援室	【事業概要】 障害者児の社会参加を促進する事業として、専門の指導者による障害児を対象としたスポーツ・レクリエーション教室を開催する。		決算額	265		実績値	19	24			
25	おひさまサン生生きまつりの開催	【事業目的】 障害者(児)や高齢者、市民が共にスポーツやレクリエーションを行うことで社会参加を促進し、市民と障害者に対する理解と認識を深めるため。	研究学園駅前公園にて、障害者と高齢者が合同で参加するスポーツイベントを開催。そのほか、ポッチャなど誰でも自由に参加できる体験コーナーを実施した。	予算額	4,775	参加者数(人)	目標値	920	940	開催日当日は天候不良であったが、天候状況に合わせた柔軟な運営により、可能な限りプログラムを実施することができた。	事業の実施規模などを実行委員会の意見を参考に定めていく必要がある。	A
(29)	障害者地域支援室	【事業概要】 障害者(児)社会参加を促進する事業として、「おひさまサン生生きまつり」を開催し、市民の障害に対する理解及び障害者の社会参加の促進を目指す。		決算額	3,814		実績値	841	795			

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
						指標名	R5	R6	R7			評価理由
26	「みんなで DO! スポーツ」の開催	【事業目的】 知的障害者の心身のリフレッシュを図るとともに、ボランティアとの交流を深めることを目的とする。	・年11回開催 ・11種類のスポーツ活動(内1回はおひさまサンサン生き生きまつりに参加) ・開催場所→(大穂体育館7回、老人福祉センターとよさと1回、豊里体育館1回、ボウリング場1回、研究学園駅前公園1回) ・活動のマンネリ化を防ぐために、外部講師を招いた活動や、外部施設での活動を行った	予算額 273	決算額 224	参加者数 (人)	目標値	250	250	・ロコミ等で参加者が増加。昨年度から継続した参加者に加え、新しく中学生の登録が多かった。年齢層も幅広くなり、新たな交流も生まれている。 ・利用者は普段、家族や学校施設関係者との交流がほとんどであり、ボランティアをはじめとする外部の人との交流をとっても楽しみにしているとの声が多く聞かれた。	・安全な運営のために現状35名の定員を設けているが、メンバーの固定化している点が課題。R6年度はロコミにて4名の中学生が新規で登録された。 ・年齢制限を設けることなども協議していく。	S
(30)	つくば市社会福祉協議会	【事業概要】 障害者のスポーツを通じた地域との交流や仲間づくりを目的としてスポーツ交流事業を開催。			実績値 210		250					
27	体験乗馬療法事業の開催	【事業目的】 乗馬を通して動物とふれあう心を養い、障害児と健常児の交流を図り、互いに密接に係わりながら、精神的安定を図るため。	ノーマライゼーションの理念のもと、障害者等と健常児の交流の中で、アニマルセラピーの効果により、障害児の精神的安定と共に啓発を図ることを目的とし、「チャレンジアートフェスティバル」と同時実施した。	予算額 513	決算額 462	参加者数 (人)	目標値	270	290	チャレンジアートフェスティバル会場にいた障害児・者と大清水公園に来た小学生以下の児童の多くが参加した。	より多くの障害児・者が参加できるようになかたちを検討していく。	A
(31)	障害者地域支援室	【事業概要】 地域生活支援事業における社会参加支援として、乗馬を通して、動物とふれあう心を養うとともに、障害児と健常児との交流を図る。			実績値 259		237					

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策3(5)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が少なく中止となった教室は改善を検討しており、全体としては各種イベントや教室によって障害者スポーツを取り巻く環境や認知度の向上が図られている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業23 → 参加者が少なく中止に至ったことで障害者スポーツの普及の困難さが露呈された結果となったが、その反省を糧とし、後継の障害者スポーツ体験出前教室の実施においては、多くの学校に活用されるよう働きかけていただきたい。 事業26 → 障害者のスポーツ環境は健常者との比較の上で十分とは言えず、多様なプログラムを工夫しながら実施している本事業は、知的障害者にとって価値の高いものである。また、スポーツを通じたボランティアとの交流が、精神面の安定や生きがいをもたらしていると考えられ、今後も創意工夫の下で開催いただきたい。

施策3 障害者のスポーツ活動の促進【推進計画P45】

(6) スポーツ活動を支える仕組みづくり【重点取組1】

③	障害者のスポーツ活動をサポートする仕組みを構築するとともに、サポートする人材を育成し、イベント等への参加促進とスポーツ活動の拡充につなげます。また、つくば市スポーツ推進委員と連携し、地域に根付いた障害者スポーツの普及促進を図ります。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標5	障害者の週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションの実施率	38.30%	50%以上
④	障害者のリハビリテーションや就労支援、社会参画のきっかけづくりにつなげるため、eスポーツ等の新たな技術やサービスの活用について、関連団体と連携しながら検討します。				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
					指標名	R5	R6				R7
再掲 26	「みんなで DO! スポーツ」の開催	【事業目的】 知的障害者の心身のリフレッシュを図るとともに、ボランティアとの交流を深めることを目的とする。	・年11回開催 ・11種類のスポーツ活動(内1回はおひさまサンサン生き生きまつりに参加) ・開催場所→(大穂体育館7回、老人福祉センターとよさと1回、豊里体育館1回、ポウリング場1回、研究学園駅前公園1回) ・活動のマンネリ化を防ぐために、外部講師を招いた活動や、外部施設での活動を行った	予算額 273	参加者数 (人)	目標値	250	250	・口コミ等で参加者が増加。昨年度から継続した参加者に加え、新しく中学生の登録が多かった。年齢層も幅広くなり、新たな交流も生まれている。 ・利用者は普段、家族や学校施設関係者との交流がほとんどであり、ボランティアをはじめとする外部の人との交流をとても楽しみにしているとの声が多く聞かれた。	・安全な運営のために現状35名の定員を設けているが、メンバーの固定化している点が課題。R6年度は口コミにて4名の中学生が新規で登録された。 ・年齢制限を設けることなども協議していく。	S
	(30)	つくば市社会福祉協議会	【事業概要】 障害者のスポーツを通じた地域との交流や仲間づくりを目的としてスポーツ交流事業を開催。	決算額 224		実績値					
28	障害者スポーツのサポーターや指導者の育成の支援	【事業目的】 障害者スポーツサポーター等の支援者を増やすことで、障害者のスポーツ活動への心理的又は物理的負担を減らし、参加を促すため。	障害者のスポーツ環境を整備するため、具体的な支援方法を学ぶための講座を計6回(2グループ×3回)実施した。	予算額 701	障害者スポーツサポーター養成講座受講者数 (人)	目標値	20	20	スポーツ推進委員から延べ24名が受講し、障害者がスポーツをする際の具体的なサポート方法等を学ぶことで、障害者がスポーツをする際の心理的障壁の低減につながった。	講座の受講者がスポーツ推進委員に限られているため、今後、募集方法も含めて受講対象の拡大を検討していく。	S
	(27)	スポーツ振興課	【事業概要】 障害者スポーツのサポーターを育成するための体験会を開催し、直接に精神障害者がスポーツ施設を利用する上での必要な支援を学ぶ。	決算額 700		実績値					
29	シittingsports協会との連携	【事業目的】 障害者スポーツの推進のため、活動拠点を提供し、市民が障害者スポーツに触れる機会を提供する。	車いすバスケットで活動している団体に、月に1回谷田部総合体育館を貸し出し、車いすバスケットの周知活動を実施してもらった。	予算額 0	会場予約協力回数(回)	目標値	12	12	市民の9名の方が参加し、5名の方が見学に来た。徐々にはあるが、着実に障害者スポーツが推進されている。	今後も、同様の取り組みを行い、興味を持った人に活動の見学を促していく。	S
	新規	スポーツ振興課	【事業概要】 覚書を締結し、月に1回、車いすバスケットの団体に体育館を貸し出す。	決算額 0		実績値					

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策3(6)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての事業が目標値を達成しているものの、障害者のスポーツ活動をこれらの事業で十分に支えられているとは考え難く、新たな技術・サービスの活用を含め更なる対策の余地がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業29 → 行政が単独で実現できることには限度があり、その点においてシittingsports協会を始めとした障害者スポーツを推進する各団体との連携は非常に有効である。車いすバスケットボールの活動拠点の提供についても一定の効果があると考えられるが、より効果的な連携の取組についても協会と調整の上で検討いただきたい。

施策4 成人のスポーツ活動の促進【推進計画P46】

(7) 気軽に取り組めるスポーツ活動

①	市民の健康や体力の保持増進を促すため、運動教室やスポーツ教室、出前健康教室を開催するなど、生涯にわたりスポーツに取り組める機会を提供します。また、健康づくりを支援する各種アプリの活用を促進するなど、スポーツへの参加促進を図ります。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標3	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	55.10%	70%以上
②	働き盛り世代や子育て世代などに向けては、開催時間や内容のみならず年代や性別、ライフスタイルなど、多様なニーズに対応したスポーツ機会を提供するとともに、オンライン等を活用して場所や時間に制限されることなく気軽に運動・スポーツに親しむ機会を提供するなど、スポーツへの参加促進を図ります。	指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	56.80%	80%以上

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価		
				予算額	決算額	指標名	R5	R6			R7	評価理由	
30	40歳から64歳までのいきいきプラザ運動教室	【事業目的】 40歳から運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、早期から介護予防を行うため。 【事業概要】 健康増進施設いきいきプラザにて、40～64歳までを対象として、運動指導、体力測定、栄養指導を行うアクティブ運動教室を実施する。	いきいきプラザのアリーナで、2クラスの運動教室(延べ86回)を開催した。	1,000	987	40歳から64歳までのいきいきプラザ運動教室参加実人数(人)	目標値 80	実績値 37	80	39	区会回覧や市報、ホームページ、X等の広報活動を行った。延べ1,169人が参加した。	5年卒業制度による卒業や年齢によるコース変更があり、参加者が減少しやすい傾向がある。	B
(4)	健康増進課											広報活動により新規申込が増加し、徐々に参加者も増えているため、評価を引き上げた。	
31	茨城県ヘルスケアポイント事業	【事業目的】 市民一人ひとりの主体的な健康づくりを応援し、市全体の健康意識を高めるため。 また、健康づくりの取り組みに応じて、景品抽選イベントに応募できる機会をもうけるなどして、楽しみながら健康づくりを習慣づけできるように、自身の健康への関心を高めていくため。 【事業概要】 本市が実施するスポーツイベントや講習会等の行事に参加した場合に、ポイントを付与し、市民のスポーツ参加を促進する。	健康に関するイベントでの周知活動や、春と秋の集団検診など自分の健康について考えるきっかけとなるタイミングでの事業のチラシの配布(計1万部)を行い、事業へ参加するきっかけ作りをした。	0(県アプリの使用料なし)	0(県アプリの使用料なし)	ダウンロード者数(人)	目標値 5,767	実績値 4,706	5,767	6,569	市民に健康づくりについての意識や関心を高めるきっかけを作ることができ、目標値も達成することができた。	今後も継続して周知活動を行い、利用者増加に向けて取り組んでいく。	S
(6)	健康増進課												
32	スポーツ教室・運動教室の実施	【事業目的】 スポーツ教室や運動教室を開催することで、より多くの市民にスポーツ参加の機会を創出し、スポーツの振興に貢献するため。 【事業概要】 スポーツ教室や運動教室の開催を通して、スポーツの楽しさや健康の維持管理の方法を学び、市民のスポーツ活動の促進を図る。	目標値に達しなかったものの、当初の予定通りおおむね実施することができた。 実施種目 ・子どものスポーツ体験教室 40人 ・トレイルラン教室 66人 ・初心者ランニング教室 88人 ・高学年スプリント教室 35人 ・低学年かけこ教室 81人 ・スケートボード教室 18人	1,423	727	参加者数(人)	目標値 500	実績値 457	500	500	ランニング教室に関して、初心者向けにするため、名称を変更したところ、大半の参加者がランニング初心者となり、スポーツ推進計画で掲げるスポーツ実施率の向上につながった。また、アンケート内でも、今後の運動に向けての一步となった等の前向きな回答も散見された。	スポーツ実施率の向上(今までスポーツをしてこなかった人がスポーツをするようになること)を目指し、令和6年度より大幅に変更したため、しばらくは現状のまま実施する。	B
(3)	スポーツ振興課												

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策4(7)はやや遅れており、改善事項があることから、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教室における参加者数の低調さに加え、直面する課題や今後の方向性が明確である点において、改善の余地があると考えられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業30 → 参加者数が目標値の半数程度に止まったことに加え、参加者が減少しやすい制度上の課題が明確であることから、広報活動の充実とともにふさわしい制度設計についても検討いただきたい。 事業32 → 初心者向けの教室によってスポーツ人口の掘り起こしが進んだものの、参加者数が目標値を下回っていることから、市民のニーズに即した魅力ある教室を検討いただきたい。

施策4 成人のスポーツ活動の促進【推進計画P46】

(8) 仲間づくりや地域活動につながるスポーツ活動

③	地域資源を活用したスポーツイベント等の取組を通じて、世代間交流や仲間づくりにつながる機会を提供します。また、つくば市スポーツ協会のスポーツ振興会等の地域で活動している団体への支援を行うとともに、世代交代に向け、将来の地域活動を担う人材の育成を図ります。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標3	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	55.10%	70%以上
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	56.80%	80%以上

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由		
				予算額	決算額	指標名	R5	R6				R7	
33	スポーツフェスティバルの実施	【事業目的】 スポーツに参加する機会やスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、障害者スポーツに触れ、理解を深めることで、スポーツ活動の促進を図るため。	10月5日、つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024を共同主催((株)カスミ、関彰商事(株)、東京ガス(株)、(一社)つくば市スポーツ協会)と開催し、13団体にスポーツ体験ブースを実施していただいた。	1,186	983	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値 1,200	実績値 1,173	1,200	866	前年度より参加者が減ってしまっただが、866名の参加いただいた。スポーツ体験ブースを体験した回数が1人平均約5回(全体4288回)と多くのスポーツに触れる機会を提供することができた。	参加数が前年度より減少しているため、イベントの内容や広報活動を見直す。	B
(2)	スポーツ振興課	【事業概要】 子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツの日を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツフォーラムなどを行い、市民のスポーツ文化に対する理解を促すとともに、市民がスポーツについて交流する機会を提供する。											
34	「つくばウォークの日」運動普及事業	【事業目的】 健康増進・生活習慣病予防・介護予防の観点から、手軽にできるウォーキングを生活の中に取り入れる動機づけを行い、運動習慣の定着を目的として実施するため。	・年5回のイベントウォーク ・年6回の地区ウォーク ・チラシ配布 ・ホームページ公開	79	7	参加者数(人)	目標値 1,000	実績値 740	1,000	693	手軽にできるウォーキングを生活の中に取り入れる動機づけになった。	・参加人数の減少 ・新コースの設定	B
(45)	健康増進課	【事業概要】 毎月第1日曜日を「つくばウォークの日」と定め、ウォーキングイベントを開催したり、ウォーキングコースを紹介するなど、市民が運動に親しむ機会を提供する。											
35	つくば健康マラソン大会開催事業	【事業目的】 学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を図るため。	令和7年2月1日(土)に予定通り開催した。 主会場: 研究学園駅前公園 参加者: 1,232人 コース: 2km, 3km, 5km	6,289	4,265	当日参加者数(人)	目標値 1,870	実績値 1,369	1,870	1,232	つくば市は、「ランナーに愛されるまち」を推進しており、誰もが気軽に参加できるマラソン大会として定着している。特に大きな事故等も無く、無事に開催できた。	感染症流行前に開催した大会より参加者が減少していることから、より効果的な広報手段を検討していく。これまで予備日を設定していたが、警備員の調整が困難になってきている。	B
(43)	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば健康マラソンを開催する。											
36	つくば市スポーツ協会との連携及び事業の補助	【事業目的】 (一社)つくば市スポーツ協会の事業を促進させ、地域のスポーツ活動の活性化を図るため。	スポーツ大会・イベントの開催や市の行事への協力に加え、スポーツ振興会や各競技の専門部会、スポーツ少年団を統括する同協会の公共性に鑑み、19,000千円を交付し活動を補助した。	19,000	19,000	補助金交付額(千円)	目標値 19,000	実績値 19,000	19,000	21,400	交付された補助金や会費等の自主財源によって、同協会が主催する大会等のみならず、スポーツ振興会や専門部会、スポーツ少年団による各種大会を開催することができた。	今後、事業等の拡大に伴った事業費・人件費の増大が見込まれることや、部活動の地域展開の方向性に応じ、適切な連携・補助を検討していく。	S
(38)	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば市スポーツ協会及びその構成組織である専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会と連携し、本市のスポーツを推進する。また、同協会が行うスポーツ事業に対して補助を行う。											

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策4(8)はやや遅れており、改善事項があることから、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの参加が見込めるスポーツイベントについては、感染症の影響下を脱したものの、指標となる参加者数は軒並み前年度を下回っている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業33 → 障害者スポーツの普及にも資する本事業には一定の意義があると考えられ、開催による効果を増大させる観点から、参加者数を増やすための方策を講じていただきたい。 事業35 → 地域に根差したイベントとしてランニング人口の増加に寄与していると考えられ、社会情勢やランナーのニーズに即した開催内容と併せて、効果的な広報手段を検討いただきたい。

施策5 スポーツをやる機会の提供【推進計画P47】

(9) すべての市民に向けた運動・スポーツをやる機会の提供

①	市民が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベントやスポーツ大会、多様なスポーツを体験・学べるイベント等を開催するなど、様々なアプローチにより、市民がスポーツに親しみ、交流できる機会を提供します。また、スポーツに無関心な人の興味関心を喚起するような啓発活動、イベントや体験の提供など、スポーツを知り、スポーツを始めるきっかけとなる機会を提供します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)	
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率		56.80%	80%以上
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率		-	20%

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6			R7	評価理由
再掲 31	茨城県ヘルスケアポイント事業	【事業目的】 市民一人ひとりの主体的な健康づくりを応援し、市全体の健康意識を高めるため。 また、健康づくりの取り組みに応じて、景品抽選イベントに応募できる機会をもうけるなどとして、楽しみながら健康づくりを習慣づけできるようにし、自身の健康への関心を高めていくため。	健康に関するイベントでの周知活動や、春と秋の集団検診など自分の健康について考えるきっかけとなるタイミングでの事業のチラシの配布(計1万部)を行い、事業へ参加するきっかけ作りをした。	予算額	0(県アプリの使用料なし)	ダウンロード者数(人)	目標値	5,767	6,569	市民に健康づくりについての意識や関心を高めるきっかけを作ることができ、目標値も達成することができた。	今後継続して周知活動を行い、利用者増加に向けて取り組んでいく。	S
				決算額	0(県アプリの使用料なし)		実績値					
(6)	健康増進課	【事業概要】 本市が実施するスポーツイベントや講習会等の行事に参加した場合に、ポイントを付与し、市民のスポーツ参加を促進する。										
再掲 32	スポーツ教室・運動教室の実施	【事業目的】 スポーツ教室や運動教室を開催することで、より多くの市民にスポーツ参加の機会を創出し、スポーツの振興に貢献するため。	目標値に達しなかったものの、当初の予定通りおおむね実施することができた。 実施種目 ・子どものスポーツ体験教室 40人 ・トレイルラン教室 66人 ・初心者ランニング教室 88人 ・高学年スプリント教室 35人 ・低学年かけっこ教室 81人 ・スケートボード教室 18人	予算額	1,423	参加者数(人)	目標値	500	500	ランニング教室に関して、初心者向けにするため、名称を変更したところ、大半の参加者がランニング初心者となり、スポーツ推進計画で掲げるスポーツ実施率の向上につながった。また、アンケート内でも、今後の運動に向けての一歩となった等の前向きな回答も散見された。	スポーツ実施率の向上(今までスポーツをしてこなかった人がスポーツをするようになること)を目指し、令和6年度より大幅に変更したため、しばらくは現状のまま実施する。	B
				決算額	727		実績値					
(3)	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツ教室や運動教室の開催を通して、スポーツの楽しさや健康の維持管理の方法を学び、市民のスポーツ活動の促進を図る。										
再掲 33	スポーツフェスティバルの実施	【事業目的】 スポーツに参加する機会やスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、障害者スポーツに触れ、理解を深めることで、スポーツ活動の促進を図るため。	10月5日、つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024を共同主催((株)カスミ、関彰商事(株)、東京ガス(株)、(一社)つくば市スポーツ協会)と開催し、13団体にスポーツ体験ブースを実施していただいた。	予算額	1,186	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値	1,200	1,200	前年度より参加者が減ってしまっていたが、866名の参加いただいた。スポーツ体験ブースを体験した回数(1人平均約5回(全体4288回))と多くのスポーツに触れる機会を提供することができた。	参加者が前年度より減少しているため、イベントの内容や広報活動を見直す。	B
				決算額	983		実績値					
(2)	スポーツ振興課	【事業概要】 子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツの日を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツフォーラムなどを行い、市民のスポーツ文化に対する理解を促すとともに、市民がスポーツについて交流する機会を提供する。										
再掲 34	「つくばウォークの日」運動普及事業	【事業目的】 健康増進・生活習慣病予防・介護予防の観点から、手軽にできるウォーキングを生活の中に取り入れる動機づけを行い、運動習慣の定着を目的として実施するため。	・年5回のイベントウォーク ・年6回の地区ウォーク ・チラシ配布 ・ホームページ公開	予算額	79	参加者数(人)	目標値	1,000	1,000	手軽にできるウォーキングを生活の中に取り入れる動機づけになった。	・参加人数の減少 ・新コースの設定	B
				決算額	7		実績値					
(45)	健康増進課	【事業概要】 毎月第1日曜日を「つくばウォークの日」と定め、ウォーキングイベントを開催したり、ウォーキングコースを紹介するなど、市民が運動に親しむ機会を提供する。										

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由	
35	つくば健康マラソン大会開催事業	【事業目的】 学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を図るため。	令和7年2月1日(土)に予定通り開催した。 主会場:研究学園駅前公園 参加者:1,232人 コース:2km, 3km, 5km	6,289		当日参加者数(人)	目標値	/	1,870	1,870	つくば市は、「ランナーに愛されるまち」を推進しており、誰もが気軽に参加できるマラソン大会として定着している。特に大きな事故等も無く、無事に開催できた。	感染症流行前に開催した大会より参加者が減少していることから、より効果的な広報手段を検討していく。これまで予備日を設定していたが、警備員の調整が困難になってきている。	B
	(43)	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば健康マラソンを開催する。	4,265			実績値	1,369	1232				
37	スポーツイベントに関するつくば市の後援名義の使用承認	【事業目的】 市以外の者が主催して行うスポーツイベント等に対し後援名義の使用を承認することで、市民のためのスポーツ活動を後押しすることができ、「スポーツで“つながる”まち つくば」にふさわしいスポーツの振興を図るため。	市内スポーツイベント等のつくば市後援名義の使用について、取扱要項に基づき審査を行い、承認した。	0		承認件数(件)	目標値	/	-	-	スポーツイベント等に対する後援名義の使用承認を通じて、市のスポーツ振興に寄与することができた。	引き続き迅速な審査を心掛け、遅滞なく事務を行う。	S
	(47)	秘書課	【事業概要】 各種団体が主催するスポーツイベント等に対して、申請に基づき、本市の後援名義の使用を承認する手続きを行う。	0			実績値	32	37				

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策5(9)はやや遅れており、改善事項があることから、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツをするためには効果的な広報が重要であり、その上で、多くの事業において参加者数が目標値を下回っていることから、改善の余地があると考えられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業33 → 障害者スポーツの普及にも資する本事業には一定の意義があると考えられ、開催による効果を増大させる観点から、参加者数を増やすための方策を講じていただきたい。【再掲】 ・ 事業35 → 地域に根差したイベントとしてランニング人口の増加に寄与していると考えられ、社会情勢やランナーのニーズに即した開催内容と併せて、効果的な広報手段を検討いただきたい。【再掲】

施策5 スポーツをしる機会の提供【推進計画P47】

(10) スポーツ情報にふれる機会の拡充

		成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	56.80%	80%以上
②	つくば市で実施している事業に加え、各団体の活動情報をより多くの人に効果的に届けられるよう、関連する団体と連携を図りながら、市広報紙やウェブサイト、関連SNS等を活用し、情報発信を行います。	指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	56.80%	80%以上
③	ナッジの理論を活用するなど情報発信について研究し、スポーツに取り組むきっかけがなかった市民やスポーツに積極的にふれていなかった市民に向けて、効果的に情報を届ける新たな仕組みを検討します。	指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	-	20%

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			
38	鹿島アントラーズとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民招待デー(5/19)、フレンダーリータウンデイズ(8/17・3/16)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	1,500	1,500	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市の日については、定員を超えての申し込みがあった。	連携を強化し、市民のプロスポーツをみる機会を提供していく。	S
	(73)	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	0	0	実績値	-	2,024				
39	つくばユナイテッドサンガイアとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市PRデー(2/22)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	100	100	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市PRデーについては、定員の200名には届かなかったが、多くの市民が参加した。	連携を強化し、市民のプロスポーツをみる機会を提供していく。	S
	(73)	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	0	0	実績値	-	276				
40	茨城ロボッツとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民デー(1/29)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。スポーツフェスティバルへ参加していただいた。新規として、市内小中学校への朝の挨拶運動を実施してもらった。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	200	200	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市民デーについては、多くの市民に参加いただいた。	連携を強化し、市民のプロスポーツをみる機会を提供していく。	A
	(73)	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	0	0	実績値	-	194				
41	つくばFCとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民デー(6/16・23)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、市内公共施設への試合に関するポスターの設置やチラシの配布、庁内展示ブースにおける公式戦のPRを実施した。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	200	200	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市民デーについては、定員を超えての申し込みがあった。	連携を強化し、市民のプロスポーツをみる機会を提供していく。	S
	(73)	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	0	0	実績値	-	497				
42	スポーツ関連情報の提供	【事業目的】 市民へスポーツに関する情報提供することで、スポーツに関する興味・関心を高める。	スポーツ振興課が管理しているSNSアカウントだけではなく、市の公式SNSのスポーツに関する投稿をシェアする等を行い、前年よりも多くの発信をすることができた。	0	0	SNS情報発信回数(イベント告知・報告)(回)	目標値	30	35	表敬訪問の記事をSNS投稿したことで、表敬訪問の希望者が増加し、スポーツで活躍する市民を激励し、スポーツ活動の活発化に寄与したと考えられる。	独自の発信を活発にするとともに、市のSNSのスポーツ関連記事のシェアを増やしていく。	S
	(5)	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツに関連のあるトピックについて、広報誌への掲載やSNSへの投稿を行う。	0	0	実績値	24	38				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
43	表敬訪問	【事業目的】 訪問時の会談をとおして市長等から激励を受ける機会や、その風景を広報することで、スポーツを行う市民のモチベーションや啓発を図るため。	スポーツの全国・世界大会の出場者などに市長からの激励の機会を提供し、その様子を市SNSなどをとおして情報発信を行った。	0	0	表敬訪問(件数)	目標値	14	14	表敬訪問を行うことでスポーツを行う市民のモチベーションの啓発を図ることができ、つくば市で活躍する選手等を市民に情報発信を行うことができた。	引き続き、市民に対してスポーツの知る機会を提供する。	S
新規	スポーツ振興課	【事業概要】 輝かしい成績を残したスポーツ選手や監督コーチが市長等に表敬訪問をする際に日程調整やプレスリリース、SNS等とおした情報発信を行う。		0	0	実績値	14	26				

評価結果	評価結果の分析等
S	<p>■ 施策5(10)は順調に進んでおり、評価は「S」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツチームとは多岐に渡り連携し、また、地域でスポーツ活動をする団体・個人とは、イベントや表敬訪問を広報することで市民がスポーツをしる機会を創出している。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業42 → スポーツチームに限らず民間団体が主催するスポーツイベント等は多数あり、市はSNSや広報紙などを適切に活用し、広報活動の点でこれらの取組を適切に後押しいただきたい。

施策5 スポーツをやる機会の提供【推進計画P47】

(11) つくばらしいスポーツ文化の創出

④	健康づくりとして気軽に取り組めるウォーキングやランニングについては、スポーツイベントの充実に努めるとともに、つくば市ならではの自然風景、歴史や街並みを楽しめるフットパスコース、ウォーキングコース等のPRを図り、身近なスポーツとしての活用を推進します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	56.80%	80%以上
⑤	つくば市最大のスポーツイベントであり、全国からランナーが集まるつくばマラソンや、つくば霞ヶ浦りんりんロード、筑波山を活用したサイクリングなどのスポーツイベント、スポーツ大会の開催により、つくばらしいスポーツ文化を創出し、スポーツを通じた交流を図ります。	指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	-	20%
⑥	国際都市つくばにふさわしいスポーツを通じた国際交流機会の拡大を目指し、市内在住の外国の方を含め、すべての市民に多様な交流機会を提供します。				

再掲 再掲	事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価		
					予算額	決算額	指標名	R5	R6			R7	評価理由	
再掲	33	スポーツフェスティバルの実施	【事業目的】 スポーツに参加する機会やスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、障害者スポーツに触れ、理解を深めることで、スポーツ活動の促進を図るため。	10月5日、つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024を共同主催(株)カスミ、開彰商事(株)、東京ガス(株)、(一社)つくば市スポーツ協会と開催し、13団体にスポーツ体験ブースを実施していただいた。	1,186	983	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値 1,200	実績値 1,173	1,200	866	前年度より参加者が減ってしまっただが、866名の参加いただいた。スポーツ体験ブースを体験した回数が1人平均約5回(全体4288回)と多くのスポーツに触れる機会を提供することができた。	参加数が前年度より減少しているため、イベントの内容や広報活動を見直す。	B
	(2)	スポーツ振興課	【事業概要】 子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツの日を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツフォーラムなどを行い、市民のスポーツ文化に対する理解を促すとともに、市民がスポーツについて交流する機会を提供する。											
再掲	35	つくば健康マラソン大会開催事業	【事業目的】 学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を図るため。	令和7年2月1日(土)に予定通り開催した。 主会場:研究学園駅前公園 参加者:1,232人 コース:2km、3km、5km	6,289	4,265	当日参加者数(人)	目標値 1,870	実績値 1,369	1,870	1,232	つくば市は、「ランナーに愛されるまち」を推進しており、誰もが気軽に参加できるマラソン大会として定着している。特に大きな事故等も無く、無事に開催できた。	感染症流行前に開催した大会より参加者が減少していることから、より効果的な広報手段を検討していく。これまで予備日を設定していたが、警備員の調整が困難になってきている。	B
	(43)	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば健康マラソンを開催する。											
	44	つくばマラソン開催事業	【事業目的】 集客力のある大規模なイベントを開催することで、スポーツの楽しみや健康の増進や参加者の交流の場を提供し、スポーツでつながるまちづくりに寄与するとともに、市のPRにつなげるため。	令和6年11月24日(日)に予定通り開催した。 主会場:筑波大学陸上競技場 参加者:フルマラソン 8,770人 10km 1,781人	15,000	15,000	当日参加者数(人)	目標値 10,200	実績値 9,916	10,200	8,500	全国的に多くのマラソン大会が定員割れとなる中、フルマラソンの部がエントリー開始から約1時間20分で、10kmの部も締め切りを待たずに定員に達しており、つくばマラソンの運営が多くのランナーに選ばれ愛されている証と考える。	次回大会からコースをリニューアルするに当たり、日本陸連の公認取得、警察との交通規制の調整、その他必要な会議の開催など、多岐にわたる業務を実施する必要がある。	S
	(42)	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。											
	45	フットパスコースの設定、PRの取組	【事業目的】 筑波山麓や田園地帯、古い街並み等の昔ながらの風景を楽しみながら周遊観光を促進する。	筑波山麓地域等のフットパスの他に市内全域を対象とした新たな周遊観光モデルコースを6コース策定し、リリースした。	831	753	パンフレットの配布数(枚)	目標値 32,000	実績値 32,000	32,000	31,500	これまでと同様にパンフレットの配布等によりPRすることで観光客の増加に寄与し、市内周遊観光モデルコースのリリースにより、新たな観光客層へ観光への関心が拡大した。	【課題】 フットパスの一部改訂の検討や道標の維持管理のための修繕が必要。 【取組】 令和7年度中にフットパスの一部改訂及び周遊観光のPRを行う。	A
	(46)	観光推進課	【事業概要】 筑波山麓地域や各地域をめぐるコースの設定及びマップ作成を行い市内の魅力PRする。											

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
						指標名	R5	R6	R7			評価理由	
46	ランニングマップの発行	【事業目的】 つくば市ならではの自然風景、街並みを楽しめるランニングコースをPRするため。	筑波大学の鍋倉教授による授業での活用や、つくばマラソン練習会での配布を行った。その他、市内体育館や交流センター等への配布を行った。	予算額 110	決算額 0	ランニングマップ配布数(冊)	目標値 300	実績値 200	300	300	気軽にランニングを楽しめる環境を周知したことで、市民の健康増進の一助となった。	より多くの市民に周知できるような工夫をする必要がある。	S
新規	スポーツ振興課	【事業概要】 市内のスポーツ施設等でランニングマップを配布する。											

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策5(11)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部のイベントで参加者数が目標値に達していないものの、つくばマラソンを核としたスポーツ文化が着実に醸成されている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業44 → コースのリニューアルに当たっては、住宅が多い地域を走行することで市民とつくばマラソンとの距離が物理的に、そして精神的にも縮まり、これからも市民に愛される大会として育つよう万全を期して運営いただきたい。そして、つくばマラソンによって醸成されたスポーツ文化が他のイベント等に波及し、相乗効果を生み出せるよう、長期的な視点を持って取り組んでいただきたい。

施策6 スポーツ団体・組織の基盤強化及び指導者等の育成【推進計画P49】

(1) スポーツ団体・組織の支援【重点取組2】

①	つくば市スポーツ協会を構成している専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会のほか、つくば市レクリエーション協会等への支援を行うとともに、多様な連携を図りながら、スポーツ・レクリエーションを推進します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	-	20%
②	総合型地域スポーツクラブ等と連携したスポーツの推進に関する事業を進めるとともに、市内スポーツ団体を支援するなど、スポーツ推進基盤を強化します。	指標7	つくば市スポーツ協会の登録会員数	6,929人	9,300人以上
		指標8	スタートコーチ養成講座受講者数	(R3) 82人	230人

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由		
					指標名	R5	R6				R7	
47	スポーツ推進委員協議会の組織及び研修	【事業目的】 スポーツ推進委員の活動の促進と資質の向上を図り、地域スポーツ活動の指導者として市民のスポーツ活動の活性化に貢献するため。	63名のスポーツ推進委員との連携の下、地域におけるスポーツの振興を図るとともに、本市のスポーツ事業への協力や研修会への出席等によって各委員の資質向上を図った。	予算額	13	スポーツ推進委員研修会の実参加人数(人)	目標値	28	29	市の研修会のみならず、国や県の研修会も含め延べ83名が受講した。また、各種研修会で得た知見を発揮する場として、つくばマラソンを始めとした本市のスポーツ事業に対し延べ143名に協力いただいた。	老若男女の多様な市民がスポーツを楽しむ実情と同様に、スポーツ推進委員における性別や年齢といった諸要素においても、多様性を担保するための方策を検討していく。	研修会の参加者は目標値を下回ったものの、本研修会をきっかけに、障害者を対象とした体験講座への協力につなげることができたため、評価を引き上げた。
(63)	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツ推進委員を任命し、スポーツ推進委員協議会を組織し、研修をとおしてスポーツの指導者や障害者スポーツの知識を学び、市や地域のスポーツ事業や地域のスポーツボランティア活動に生かす。		決算額	13		実績値	27	20			
48	地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツ交流の支援	【事業目的】 合併前の旧町村の体育協会が実施してきた事業に倣い、各地域におけるスポーツを通じた交流と健康増進のため。	専門部会(86事業)、地域スポーツ振興会(50事業)、スポーツ少年団の各部会が行事を開催した。	予算額	12,350	スポーツ協会登録会員数(人)	目標値	7,000	7,200	市民のスポーツ活動を行う場を提供することができた。	成人のスポーツ活動は、部会によって伸び率に差がある。全体的に増加するように取り組む。	S
(32)	つくば市スポーツ協会	【事業概要】 地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツを通じた交流を支援する。また、そのための近隣の公共施設等の利用の便宜を図る。		決算額	10,379		実績値	6,951	7,051			
49	つくば市レクリエーション協会との連携及び事業の補助	【事業目的】 健全なるレクリエーションを普及発展させるとともに、会員の親睦を図り、地域レクリエーション活動を推進する。	補助金交付額30,000円	予算額	30	会員数(人)	目標値	30	30	補助金を交付し、市民のスポーツ・レクリエーション活動やつくばマラソンの給水ボランティアとして参加していただくことで地域の交流に寄与できた。	引き続き、つくば市レクリエーション協会の活動を支援する。	S
(39)	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば市レクリエーション協会と連携し、本市のスポーツ・レクリエーションを推進する。また、同協会が行う事業に対して補助を行う。		決算額	30		実績値	32	31			

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
50	総合型地域スポーツクラブ・ 拠点クラブの支援	【事業目的】 人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる環境を整備するため。	総合型地域スポーツクラブによるイベント・教室の実施に際し、会場確保や広報活動といった各種支援を実施した。	0						地域に根差した各クラブの活動を後方支援することで、地域スポーツの振興を図ることができた。	適切な支援を継続しつつ、部活動の地域展開の方向性に応じて連携・対応していく。	A
(80)	スポーツ振興課	【事業概要】 国及び関係団体が実施している総合型地域スポーツクラブ及び拠点クラブに関する事業と連携し、活動の支援を行う。		0								更なる支援の余地を踏まえて、現状は「概ね順調に進んでいる」と判断し、評価Aとした。

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策6(1)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ協会を始めとした各団体と連携しているものの、スポーツを取り巻く情勢の変化に対応するため、ふさわしい連携方法について検討の余地がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業50 → 多世代・多種目・多志向のスポーツ活動を展開する総合型地域スポーツクラブは、部活動の地域展開にとどまらず、地域のコミュニティ拠点や子どもたちが複数のスポーツを体験できるマルチスポーツ環境の場にもなり得るなど、活用の可能性が多岐に渡る点を念頭に置きながら、適切な連携方法を検討いただきたい。

施策6 スポーツ団体・組織の基盤強化及び指導者等の育成【推進計画P49】

(2) 指導者の養成と地域リーダーの育成【重点取組2】

③	スポーツ団体と連携して、「安全に、正しく、楽しく」スポーツを指導できる指導者や、地域におけるスポーツ交流を促進するリーダーを育成するとともに、資質のある人材の確保に取り組み、特に次世代を担う若年層の指導者や女性指導者の積極的な登用を図ります。また、地域とのコーディネーター役であるつくば市スポーツ推進委員の活動を促進するとともに、地域で運動を始めるためのきっかけづくりと組織的な活動の推進を図る運動普及推進員を養成します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	-	20%
④	子どもへの安全で安心な指導を行えるよう、つくば市スポーツ協会と連携した指導者講習会や茨城県の事業等を活用するほか、教員のための指導者研修会を実施します。また、部活動の地域移行を見据え、各団体の協力のもと、大学生等の若い世代や地域で活動する市民に向けて積極的に指導者講習会の受講を促します。	指標7	つくば市スポーツ協会の登録会員数	6,929人	9,300人以上
		指標8	スタートコーチ養成講座受講者数	(R3) 82人	230人

再掲	事業番号	事業名	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標			R6成果・効果	課題・今後の取組	担当評価	
	(旧番号)	担当課				指標名	R5	R6			R7	評価理由
36	(38)	つくば市スポーツ協会との連携及び事業の補助	【事業目的】 (一社)つくば市スポーツ協会の事業を促進させ、地域のスポーツ活動の活性化を図るため。	スポーツ大会・イベントの開催や市の行事への協力に加え、スポーツ振興会や各競技の専門部会、スポーツ少年団を統括する同協会の公共性に鑑み、19,000千円を交付し活動を補助した。	予算額 19,000	補助金交付額(千円)	目標値	19,000	21,400	交付された補助金や会費等の自主財源によって、同協会が主催する大会等のみならず、スポーツ振興会や専門部会、スポーツ少年団による各種大会を開催することができた。	今後、事業等の拡大に伴った事業費・人件費の増大が見込まれることや、部活動の地域展開の方向性に応じ、適切な連携・補助を検討していく。	S
		決算額 19,000	実績値	19,000	19,000							
51	(64)	つくば市スポーツ協会及び関係団体の指導者の養成及び資質の向上	【事業目的】 スポーツ活動に関わる指導者の資質を向上させるため。	つくば市内外の指導者を養成する講習会を開催した。	予算額 0	リーダー養成講習会受講人数(人)	目標値	-	170	スポーツ少年団の指導者を志す方々に基礎知識を学んでいただく場を提供することができ、受講者も大幅に増加させることができた。	スポーツ指導者を志す大人をいかに増やすかが課題である。	S
		決算額 0	実績値	113	168							
52	(67)	運動普及推進員の養成講座及び活動の実施	【事業目的】 急速な高齢化の進展とともに、生活習慣病が増加し、介護や支援を要する高齢者が増えていること等から、市民自らが、すすんで健康づくりを行うことができるよう、特に日常生活の中に運動習慣を普及する目的で、つくば市運動普及推進員として地域に密着したかたちで活動するボランティアの養成を行うものとするため。	・運動普及推進員養成講座の実施(新規修了者13人) ・運動普及推進員数 109人 ・出前健康教室 228回延べ572人協力 ・つくばウォークの日(イベント) 11回延べ158人協力 ・つくばウォークの日(地区) 74回延べ144人協力 ・体力測定(ブラザ) 11回延べ104人協力	予算額 1,349	運動普及推進員養成講座実施回数(回)	目標値	1	0	・運動普及推進員を新規に13人養成することが出来た。 ・市民に、日常生活の中で運動習慣を普及する活動が出来た。	・運動普及推進員の高齢化 ・資格が必要な事業への人員の確保	S
		決算額 666	実績値	0	1							

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
					指標名	R5	R6			R7
53	国のプロジェクトの活用	【事業目的】 スポーツ庁などの国が実施する事業やプロジェクトなどを活用することで、市だけの財源によらないスポーツ推進を図るため。	日本スポーツ協会の事業を活用し、つくば市スポーツ協会において、市内外の指導者を養成する講習会を開催した。また、スポーツ庁と連携し、補助金の活用について検討を進めた。	予算額 0	リーダー養成講習会受講人数(人)	目標値 /	-	170	スポーツ少年団の指導者を志す168名の方々に、基礎知識の学習の場を提供することができた。また、スポーツ庁の補助金については活用に至らなかったものの、各自治体における活用事例を収集することができた。	A
(79)	スポーツ振興課	【事業概要】 国等が実施する多様なプロジェクトなどを本市のスポーツの推進に積極的に活用する。国から委託を受けている(公財)日本スポーツ協会の指導者養成事業などを活用する。		決算額 0		実績値 113	168		引き続きスポーツ庁と連携しながら、国の進めるスポーツ施策の動向を注視しつつ、必要に応じて補助金等の活用について関連する各スポーツ団体との調整を進めていく。	

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策6(2)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当評価からは順調と捉えられるものの、なり手の確保や高齢化の進展といった課題について、長期的な検討の余地がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業51 → 部活動の地域展開に当たっては、これまで教員が担っていた指導者の役割が地域人材に移行することを踏まえ、地域人材における発掘・養成の必要性が高まることを見据えながら長期的な対策を検討いただきたい。

施策7 多様な主体との連携・協働【推進計画P50】

(3) 多様な主体との連携

①	つくば市の強みである大学や研究機関、企業、また、地域や各スポーツ団体・組織等と連携・協働体制を深め、「ささえる」スポーツの充実やスポーツの推進に取り組みます。	成果指標	R4(現況値)	R15(目標値)
②	大学や研究機関との連携においては、各主体の知見を活用し、更なる可能性の創出に向けた取組やSDGs達成に向けた取組などを検討します。例えば、スポーツイベント等における最新デジタル技術の活用や、学校教育や市民の健康づくり・スポーツ活動におけるデータ分析の支援、国際都市つくばとしてホストタウンの登録や海外アスリートとの国際交流を推進します。	指標6 つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	-	20%
③	大学や研究機関等によるスポーツ医・科学に関する知見を活用し、アスリート等に対する総合的なサポート体制を整備するとともに、競技力向上への活用を検討します。			
④	庁内においては、スポーツ振興課及び関係部署で情報共有を図り、連携を強化しながら、一体的にスポーツ活動に係る施策や事業等に取り組みます。			

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
					指標名	R5	R6			R7
再掲 14	スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施	【事業目的】 参加者がスポーツに触れる機会を提供する。	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024において、スポーツ体験ブースを企業、スポーツチーム、つくば市推進委員が出展し、各スポーツのPR活動を行った。 ・出展団体 13団体	予算額 1186	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値 1,000	1,000	参加者の継続的なスポーツ活動に繋げるため、出展者に積極的なPR活動を促したことで運営も活発化した。	イベント参加者が減少しているため、イベントの周知方法の見直しを行う。	A
	(19)	スポーツ振興課	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラにおいて、市内等で活動している団体に参加してもらい、各スポーツのPRを行う。	決算額 983		実績値 1,173	866			
再掲 29	シittingsスポーツ協会との連携	【事業目的】 障害者スポーツの推進のため、活動拠点を提供し、市民が障害者スポーツに触れる機会を提供する。	車いすバスケット活動している団体に、月に1回谷田部総合体育館を貸し出し、車いすバスケットの周知活動を実施してもらった。	予算額 0	会場予約協力回数(回)	目標値 12	12	市民の9名の方が参加し、5名の方が見学に来た。徐々にではあるが、着実に障害者スポーツが推進されている。	今後も、同様の取り組みを行い、興味を持った人に活動の見学を促していく。	S
	新規	スポーツ振興課	算書を締結し、月に1回、車いすバスケットの団体に体育館を貸し出す。	決算額 0		実績値 12	12			
再掲 36	つくば市スポーツ協会との連携及び事業の補助	【事業目的】 (一社)つくば市スポーツ協会の事業を促進させ、地域のスポーツ活動の活性化を図るため。	スポーツ大会・イベントの開催や市の行事への協力に加え、スポーツ振興会や各競技の専門部会、スポーツ少年団を統括する同協会の公共性に鑑み、19,000千円を交付し活動を補助した。	予算額 19000	補助金交付額(千円)	目標値 19,000	21,400	交付された補助金や会費等の自主財源によって、同協会が主催する大会等のみならず、スポーツ振興会や専門部会、スポーツ少年団による各種大会を開催することができた。	今後、事業等の拡大に伴った事業費・人件費の増大が見込まれることや、部活動の地域展開の方向性に応じ、適切な連携・補助を検討していく。	S
	(38)	スポーツ振興課	つくば市スポーツ協会及びその構成組織である専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会と連携し、本市のスポーツを推進する。また、同協会が行うスポーツ事業に対して補助を行う。	決算額 19000		実績値 19,000	19000			
再掲 38	鹿島アントラーズとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民招待デー(5/19)、フrendリータウンデイズ(8/17・3/16)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。ウオークラリー大会や健康マラソン等市のイベントへマスコットキャラクターを派遣するとともに、試合の周知を行い、みるスポーツの推進を行った。	予算額 0	PRデー市民申込者数(人)	目標値 1,500	1,500	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市の日については、定員を超えての申し込みがあった。	連携を強化し、市民のプロスポーツをみる機会を提供していく。	S
	(73)	スポーツ振興課	市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	決算額 0		実績値 -	2024			
再掲 39	つくばユナイテッドサンガイアとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市PRデー(2/22)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。	予算額 0	PRデー市民申込者数(人)	目標値 100	100	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市PRデーについては、定員の200名には届かなかったが、多くの市民が参加した。	連携を強化し、市民のプロスポーツをみる機会を提供していく。	S
	(73)	スポーツ振興課	市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	決算額 0		実績値 -	276			

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
再掲 40	茨城口ポッツとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民デー(1/29)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。スポーツフェスティバルへ参加していただいた。新規として、市内小中学校への朝の挨拶運動を実施してもらった。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	200	200	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市民デーについて、多くの市民に参加いただいた。	連携を強化し、市民のプロスポーツをみる機会を提供していく。	A
	(73) スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。				実績値	-	194				
再掲 41	つくばFCとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民デー(6/16・23)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、市内公共施設への試合に関するポスターの設置やチラシの配布、庁内展示スペースにおける公式戦のPRを実施した。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	200	200	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市民デーについては、定員を超えての申し込みがあった。	連携を強化し、市民のプロスポーツをみる機会を提供していく。	S
	(73) スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。					実績値	-	497			
55	筑波大学との協力	【事業目的】 筑波大学との連携を深め、大学スポーツの魅力を周知することにより市民のスポーツ活動への啓発をするため。	本市からは、筑波大学が実施するイベントにおける会場確保や広報活動に協力し、また、筑波大学からは、本市が実施する各種スポーツ教室の講師や審議会の委員として、専門的な見地から協力いただいた。	0	0	-	目標値	-	-	本市と筑波大学の協力関係が構築されていることで、イベントの実施における円滑化や、スポーツ行政における専門性の向上につながった。	筑波大学が有するスポーツ資源をさらに市民に還元できるよう、筑波大学との足並みを揃えながら、協力関係を深化させていく。	A
	(75) スポーツ振興課	【事業概要】 筑波大学関連団体の主催のスポーツイベントに広報活動や会場確保などの支援を行う。また、市の事業を筑波大学関係者からの協力を得ながら連携して行う。					実績値	-	-			

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策7(3)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な主体との連携が進んでいるものの、それぞれの連携内容を深化させることについては、長期的な検討の余地がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業55 → 本市の特長となる大学や研究機関に対しては、有する知見をスポーツ施策に活用するなどの連携も考えられるため、検討を進めていただきたい。

施策7 多様な主体との連携・協働【推進計画P50】

(4) 諮問機関における調査・審議

⑤	スポーツ団体関係者、学識経験者などから構成する「つくば市スポーツ推進審議会」において、つくば市のスポーツの推進に関する事項を市長の諮問に応じて調査・審議します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	-	20%

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
54	スポーツ推進審議会事業・スポーツ推進計画の進行管理	【事業目的】 行政の見識だけにとらわれず、スポーツ団体関係者、学識経験者などの意見を市のスポーツ施策に反映させるため。	スポーツ団体関係者や学識経験者などからの多様な意見をスポーツ施策に反映させるため、スポーツ推進審議会を2回開催した。	277	132	審議会開催数(回)	目標値	2	2	第1次スポーツ推進計画の最終評価を審議し、その際の多様な意見を踏まえ、初年度となる第2次スポーツ推進計画の進捗管理方法を決定した。	今後も、スポーツ推進計画に係る各事業を適切に進捗評価した上で、必要に応じて見直しや改善等していく。	S
(72)	スポーツ振興課	【事業概要】 本市のスポーツの推進に関する事項について市長の諮問に応じて調査、審議及び建議を行う。				実績値	5	2				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策7(4)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指標は目標値を達成しているものの、この施策の最終目的はスポーツ施策への反映であり、現時点ではその途上にあると考えられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業54 → 本計画の初年度となる令和6年度の実績に対する意見等については、今後、各担当部署において事業に反映されるよう適切に進行管理いただきたい。

施策7 多様な主体との連携・協働【推進計画P50】

(5) 多様な連携を通じた啓発活動【重点取組2】

⑥	つくば市にかかわりのあるトップスポーツチームやアスリート、大学等と連携し、次世代を担う子どもを主体とした、多くの市民との交流の場を提供するなど、市民のスポーツ活動に対する効果的な啓発を推進します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	-	20%
⑦	多様な主体との連携・協働により、スポーツイベントやスポーツ大会等を開催・誘致するなど、地域の活性化と市民の「しる」機会の提供、「みる」スポーツへの興味関心及び応援の機運醸成を図ります。				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
					指標名	R5	R6	R7			評価理由
再掲 14	スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施	【事業目的】 参加者がスポーツに触れる機会を提供する。	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024において、スポーツ体験ブースを企業、スポーツチーム、つくば市推進委員が出展し、各スポーツのPR活動を行った。 ・出展団体 13団体	予算額 1,186	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値	1,000	1,000	参加者の継続的なスポーツ活動に繋げるため、出展者に積極的なPR活動を促したことで運営も活発化した。	イベント参加者が減少しているため、イベントの周知方法の見直しを行う。	A
	19	スポーツ振興課	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラにおいて、市内等で活動している団体に参加してもらい、各スポーツのPRを行う。	決算額 983		実績値	1,173	866			
再掲 55	筑波大学との協力	【事業目的】 筑波大学との連携を深め、大学スポーツの魅力を周知することにより市民のスポーツ活動への啓発をするため。	本市からは、筑波大学が実施するイベントにおける会場確保や広報活動に協力し、また、筑波大学からは、本市が実施する各種スポーツ教室の講師や審議会の委員として、専門的な見地から協力いただいた。	予算額 0	-	目標値	-	-	本市と筑波大学の協力関係が構築されていることで、イベントの実施における円滑化や、スポーツ行政における専門性の向上につながった。	筑波大学が有するスポーツ資源をさらに市民に還元できるよう、筑波大学との足並みを揃えながら、協力関係を深化させていく。	A
	75	スポーツ振興課	【事業概要】 筑波大学関連団体の主催のスポーツイベントに広報活動や会場確保などの支援を行う。また、市の事業を筑波大学関係者からの協力を得ながら連携して行う。	決算額 0		実績値	-	-			
56	つくば市全国スポーツ大会等出場報奨金	【事業目的】 全国スポーツ大会等に出場する選手を激励すると共に、市民のスポーツ・レクリエーションの振興と競技力の向上及び国内、国外の親善を図るため。	・支給対象者数 112人 ・支給額1,095,000円	予算額 1,200	支給対象者数(人)	目標値	79	79	市民に対して補助・支援を行い、大会への参加意欲を高めることでスポーツ活動の促進に寄与した。	引き続き、迅速な審査を行い、遅延なく業務を行う。	S
新規	スポーツ振興課	【事業概要】 全国スポーツ大会等に出場する市民に対して補助・支援を行う。	決算額 1,095	実績値		79	112				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策7(5)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アスリートの所属するチームや企業、多くのスポーツ資源を有する筑波大学と連携したイベントなどの開催に加え、本市のスポーツ選手の国内外における活躍を後押ししている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業55 → 本市の特長となる大学や研究機関に対しては、有する知見をスポーツ施策に活用するなどの連携も考えられるため、検討を進めていただきたい。【再掲】

施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理【推進計画P53】

(1) 整備及び維持管理【重点取組3】

①	市民が安全で利用しやすいスポーツ環境を目指し、市民ニーズの把握に努めるとともに、市内のスポーツ施設の修繕や改修など適正な管理を行います。また、陸上競技場等のスポーツ施設について、市民のニーズに合わせた整備を推進します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	39.50%	55%以上
②	市民が運動やスポーツに親しみ、交流の場として利用できるよう、スポーツ関連施設や、健康の保持増進のための施設、野外活動・キャンプ等の施設の適切な管理・運営に努めるとともに、地域交流センター、ふれあいプラザ等の活用を図ります。				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6				R7
57	スポーツ施設・公共空間等の 管理及び利用の促進	【事業目的】 スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する場を確保するため。	施設窓口に管理人を配置し、受付業務や施設の清掃・管理業務を年度を通して実施した。また、施設の植栽管理についても年度を通して専門業者に依頼した。	164,040		屋内体育施設利用者数(人)	目標値 /	320,000	320,000	滞りのない管理・運営により例年並みの利用者数を確保した。 谷田部総合体育館75,294人、桜総合体育館90,863人、筑波総合体育館24,547人、大穂体育館12,572人、吉沼体育館21,164人、豊里体育館17,197人、東光台体育館22,375人、豊里柔剣道場11,438人	利用率が高い体育館や土日曜日の利用予約が困難となっていることが課題である。	A
(7)	スポーツ施設課	【事業概要】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。		156,763			実績値	275,450	272,760			
58	スポーツ施設・公共空間等の 管理及び利用の促進	【事業目的】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。	スポーツ施設(有料施設)には管理人を配置し、秩序ある施設運営を継続することができた。	-		公園スポーツ施設利用者数(人)	目標値 /	371,000	371,000	洞峰公園のプール等のスポーツ教室には毎月1,600名を超える利用者が在籍している。(R6実績値のうち、洞峰公園利用者数123,154人)	施設の維持を継続していくため、老朽化に応じた大規模改修も必要となる。	S
(8)	公園・施設課	【事業概要】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。 ※令和6年2月に茨城県から洞峰公園の管理を開始した。前計画との整合のためR5実績値に洞峰公園の利用者数は含まず。		-			実績値	245,231	398,995			
59	スポーツ施設・公共空間等の 管理及び利用の促進	【事業目的】 地域交流センターにおける市民の交流と生涯学習の場を提供するため。	地域交流センター活動団体一覧表について、市ホームページへの掲載及び地域交流センターへ設置し、希望者が自由に閲覧できるようにした。	687,579		スポーツ関係サークル団体登録数(地域交流センター)(団体)	目標値 /	180	180	目標値は達成できなかったが、スポーツ関係のサークル団体登録数は徐々にコロナ禍以前の登録数に回復しつつある。	地域交流センター講座等を通して、参加者同士がサークル団体として市民活動が継続するよう推進していく。	A
(9)	地域支援課	【事業概要】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。		527,938			実績値	167	174			
60	地域交流センターの活用	【事業目的】 地域交流センターにおける市民の交流と生涯学習の場を提供するため。	地域交流センター講座において16講座(延べ51回)開催した ・ヨガ、ピラティス、ダンス、エクササイズ、健康体操等	5,394		自主講座参加者数(数)	目標値 /	430	430	地域交流センター講座の参加者数について、目標値であった430人を大きく上回り、622人の参加者数があった。	スポーツ関係の講座を実施すると共に、土日や夜間の開催等を検討するなど、幅広い世代の市民が受講できるよう、講座企画の充実を図る。	S
(33)	地域支援課	【事業概要】 各地域交流センターにおいて、スポーツ関連の講座を開講し、また付属する施設でスポーツをすることによって、住民の自発的な活動の促進を図り、地域の交流を促す。		3,851			実績値	424	622			
61	ふれあいプラザの活用	【事業目的】 ふれあいプラザにおける市民の自主的な活動と交流の場を提供するため。	・フィットネスプールの通常貸出しのほか、定期講座の開催や子供向けイベントの実施 ・軽運動室の通常貸出しのほか、ストレッチや健康体操等の定期講座の開催	70,814		フィットネスプール利用者数(人)	目標値 /	13,000	13,000	目標値は達成できなかったが、フィットネスプール利用者数は徐々にコロナ禍以前の利用者数に回復しつつある。	フィットネスプールの通常貸出しのほか、定期講座の開催や子供向けイベントの充実を図り、施設利用者の促進を図る。	A
(34)	地域支援課	【事業概要】 市民の自主的なスポーツ活動及び交流と生涯学習の機会を提供するために、ふれあいプラザのフィットネスプール、ホール、軽運動室等を積極的に活用する。		70,245			実績値	12,191	12,851			

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
					指標名	R5	R6				R7
62	体育施設の改修及び維持管理	【事業目的】 体育施設を良好な状態に保つため。	施設改築1件、施設修繕64件、備品修繕9件	予算額 129,314	実施件数 (件)	目標値	-	-	施設整備に起因する事故やケガがなく、安全に施設を運営した。	施設の老朽化により、改修内容が高度化、高額化していることが課題である。	A
(49)	スポーツ施設課	【事業概要】 市内の体育施設(グラウンド、テニスコート、柔剣道場、体育館)の改修及び維持管理(施設修繕、備品修繕)を行う。		決算額 100,830		実績値	73	74			予算の範囲内で施設の改修及び維持管理について適切に対処できているため。
63	公園の運動施設の改修及び管理	【事業目的】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。	羽成公園、科学万博記念公園テニスコートを改修した。 さくら運動公園野球場フェンスパットを修繕した。	予算額 -	-	目標値	-	-	テニスコート改修計画を進めることができた。 危険度の高いテニスコートを優先的に改修し、事故を未然に防ぐことができた。	テニスコート改修と、野球場ナイター照明LED化を進めている。	A
(50)	公園・施設課	【事業概要】 市内の公園の運動施設(プール、テニスコート、野球場、多目的広場など)を改修し、維持管理する。		決算額 -		実績値	-	-			改修の進捗があったことや、危険度の高い箇所の修繕を実施できた。
64	つくばウェルネスパークの管理	【事業目的】 つくばウェルネスパークを良好な状態に保つため。	指定管理者制度を導入しており、イベントを開催するなど専門的な知識を有した指定管理者による管理・運営を行った。	予算額 228,356	ヘルスプラザ利用者数(人)	目標値	186,000	186,000	ヘルスプラザ及びつくばウェルネスパーク全体の利用人数が令和5年度より2万人程度増加した。	指定管理者と連携しながら、利用者ニーズに沿った講座等の実施や施設運営に取り組む。	A
(55)	スポーツ施設課	【事業概要】 市民の運動の場及び保養の場の提供、健康の保持増進のために、ヘルスプラザ、フットボールスタジアムつくば(セキショウ・チャレンジスタジアム)、スポーツフィールドなどのスポーツ施設を管理・運営する。		決算額 207,260		実績値	124,131	144,230	ヘルスプラザ利用人数 144,230人、フットボールスタジアムつくば利用人数 47,662人、スポーツフィールド利用人数4,438人		改修工事等により16日間営業日が減ったにも関わらず、R6実績値が目標値の80%近くを達成したため、評価を引き上げた。
65	つくばカピオ管理運営事業	【事業目的】 市民が安全で利用しやすいスポーツ環境の整備・提供をするため。	(開館日数) アリーナ:292 指定管理者として公益財団法人つくば文化振興財団を指定し、法定点検等の的確な実施、緊急時に備えた訓練や職員的能力・資質の向上のための研修等を実施し、安全・安心な利用環境の提供に努めた。	予算額 248,987	利用スポーツ団体数(団体)	目標値	100	100	(スポーツ利用日数) アリーナ:250 プロバレーボールやボクシングジム主催の試合などの興行に加え、バスケットボールクラブチームによる大会、パドミントン強豪校の合宿、その他市民のスポーツ練習にて日々利用されている。	経年劣化による雨漏り等が突発的に発生しているため、利用に差し支えないよう計画的に修繕が必要である。	A
(59)	芸術文化推進課	【事業概要】 つくばカピオを管理運営し、アリーナなどをスポーツ活動や市民の交流の場として提供する。		決算額 239,162		実績値	91	78			利用スポーツ団体数の実績値は目標値に対し78%だが、アリーナの開館日数に対するスポーツ利用日数の割合が85%を超えており、高い水準で市民にスポーツを通じた交流の場を提供することが出来たため、評価を引き上げた。
66	いきいきプラザの活用	【事業目的】 運動を通して市民の基礎体力の向上を図り、健康を維持し、健康で豊かな生活をしていただくために活用するため。	いきいきプラザの運動教室から派生したを自主活動団体(一般団体に分類)が、活動(運動)を継続できるよう、全13団体中いきいきプラザのアリーナを利用する6団体に対し、一定の条件は要するものの、使用料の減免等を行い、活動支援と施設利用の促進を図った。	予算額 9,060	一般貸出件数(件)	目標値	500	500	運動教室のほか広く活用していただくことが出来た。 ・運動教室 387回 ・つくば市のその他の事業 22回 ・一般団体(一般貸出件数) 470回 延べ利用回数 879回	夜間の利用には空きがあることが多い。	A
(60)	健康増進課	【事業概要】 健康増進施設いきいきプラザを活用して、運動を通して市民の体力の向上を図り、健康の維持増進を図る。		決算額 7,949		実績値	493	470			
67	野外活動・キャンプ等関連施設の維持管理	【事業目的】 市内の観光資源を最大限に生かし、年間を通じた誘客により観光産業の活性化を図る。	【筑波ふれあいの里】 コテージ(10人用)屋根外壁外改修工事、実習館給湯設備改修工事を行ったほか、筑波山麓自然学校を年7回開催した。 【豊里ゆかりの森】 キャビン改修工事、昆虫館デッキ改修工事及びアスレチック遊具更新工事を実施した。 【笠崎こもれび六斗の森】 駐車場整備工事、キャビン給湯器外修繕工事及び給排水設備改修工事設計業務を実施した。	予算額 286,093	施設利用者数(人)	目標値	31,000	32,500	各施設とも修繕工事や等の実施により、施設利用者の安全性の確保と魅力向上が図れた。	【課題】 各施設とも老朽化した施設があり継続して修繕や魅力ある施設へと改修を実施していく必要性がある。 【取組】 利用者の満足度向上のため各施設とも設備の修繕や施設の改修工事等が予定されている。	S
(61)	観光推進課	【事業概要】 野外活動・キャンプ等のための施設を備えている豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、笠崎こもれび六斗の森などの施設の管理運営を行う。		決算額 231,547		実績値	29,031	35,969			

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6			R7
68	流星台スケートボードパークの活用	【事業目的】 流星台スケートボードパークを管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。	流星台スケートボードパーク専任の管理人を配置し、秩序あるパーク運営を継続することができた。	予算額 -	決算額 -	施設利用者数(人)	目標値 /	6,200	6,200	第2回WORLD SKATE JAPAN茨城県支部大会が開催され、約30名が出場した。そのほか、スケートボード教室が2回開催された。	A
新規	公園・施設課	【事業概要】 流星台スケートボードパークを管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。		173,891	88,604	実績値	6,121	5,596		施設の維持管理を継続し、必要に応じて修繕を行う。	
69	みどりのプールの活用と管理	【事業目的】 みどりのプールを良好な状態に保ち、広く活用を促すため。	指定管理者制度を導入しており、学校授業中は安全管理を担当するなど専門的な知識を有した指定管理者による管理・運営を行った。	173,891	88,604	施設利用者数(人)	目標値 /	92,000	70,000	学校利用と一般利用の際の運用の切り替えを効率的に行うことができ、計画的な学校授業の実施に貢献した。学校利用者数9,124人、一般利用者数45,772人、専用利用者数1,029人、教室利用者数13,242人、イベント人数2,976人	B
新規	スポーツ施設課	【事業概要】 スポーツの普及及び地域の振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与するとともに、つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校における授業を行うため、プール、トレーニングルーム及び会議室等を維持管理する。				実績値	-	63,915		指定管理者と連携しながら、利用者ニーズに沿った講座等の実施や施設運営に取り組む。	
70	サイクルパークつくばの活用	【事業目的】 市内の自転車利用の中核となる場を提供することにより、自転車の利用促進及び地域の振興に寄与するため。	・6/1~6/2に2024JBMXF大東建託シリーズ第3戦つくば大会を誘致した。 ・11/3に自転車イベント「Pedal Day Go」を開催した。 ・「弱虫ペダルつくばBMXレーシングシリーズsupported by沼尻産業」を計6戦、「沼尻産業つくばBMXレーシングシリーズ2025」の第1戦・第2戦を開催した。	24,887	24,887	施設利用者数(人)	目標値 /	6,000	6,250	・BMXコースを中心に多くの来訪があった。 ・自転車イベント「Pedal Day Go」は約3,500人の参加があり、自転車競技のみならず、自転車を楽しむ機運を醸成した。	S
新規	サイクルコミュニティ推進室	【事業概要】 アンジョナルサイクルルートに指定されているつくば露ヶ浦りんりんロードやヒルクライムを楽しむサイクリストで賑わう筑波山不動峠からほど近いBMXレーシングコースを備えた自転車拠点サイクルパークつくばを管理・運営する。				実績値	3,040	9,629		・BMXコース利用のみではなく、ロードバイクやクロスバイクなどでサイクリングを楽しむ層により利用してもらえるよう、施設の認知度を上げる。	
71	学校体育施設の維持管理	【事業目的】 学校体育施設を適切に維持管理及び改修を行い、スポーツ環境の確保を図るため。	学校施設長寿命化計画に基づき、手代木中学校武道場において、建物内外壁・床等の大規模修繕工事を実施した。	241,989	225,170	工事件数(件)	目標値 /	1	1	修繕工事により、安全に活動のできるスポーツ環境が確保された。	S
新規	教育施設課	【事業概要】 学校施設長寿命化計画に基づき、学校体育施設の維持管理を行う。				実績値	0	1		令和7年度高崎中学校体育館の長寿命化改修工事を実施し、スポーツ環境の整備を図る。	
72	陸上競技場の整備検討	【事業目的】 つくば市内に陸上競技場を整備するため。	旧上郷高校解体設計業務委託を実施・完了した。 プロポーザル方式により、つくば市陸上競技場整備基本・実施設計業務委託を設計業者と契約し、R7年度の完了に向けて設計業務を進めた。	50,803	42,803	-	目標値 /	-	-	旧上郷高校解体設計の完了や陸上競技場の設計に着手する等、施設共用開始に向けR6年度に予定していたプロセスを順次消化することができた。	S
(48)	スポーツ施設課	【事業概要】 公認記録(日本陸上競技連盟が認める記録)をとることができ、障害者や高齢者等誰もが利用しやすい、つくば市にふさわしい施設を整備する。				実績値	-	-		陸上競技場の設計業務を完了させるにあたり、関係団体と協議する必要がある。 設計業務と並行して旧上郷高校の解体工事や土壌汚染調査を実施する必要がある。	R10年度中の陸上競技場供用開始に向けて、スケジュール通りに業務を進めることができる。

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策8(1)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設の特性に合わせたイベントや教室が開催されていることもあり、全体として利用は好調であるものの、一部の施設では予約が困難となっている。 各施設に対しては常に一定のニーズが存在していることが考えられ、これに応えるためには、修繕・改修を計画的に実施していく必要がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業68・70 → スケートボードやBMXといったアーバンスポーツについては、若者を始めとする多様な市民の交流機会の創出や、現代的な都市文化の醸成といった効果も有している点に留意しながら、創意工夫の上でふさわしい振興策を講じていただきたい。 事業69 → みどりのプールについては、学校利用と一般利用を切り替えながら運用できる点で活用の幅は広く、市民が利用しやすい施設といえる。しかしながら、オープン初年度の利用者数が目標の7割程度に止まっていることから、2年目以降の増加に向け、まずは市民からの認知度向上を目指し積極的に周知いただきたい。

施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理【推進計画P53】

(2) バリアフリー化の推進【重点取組1・3】

③	すべての市民が利用しやすく、更に障害者スポーツ競技者にとっても利用しやすい施設となるようバリアフリー化を進め、適切な維持管理を行います。また、障害者の利用も含めて広く施設に関する情報を共有します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	39.50%	55%以上

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
					指標名	R5	R6	R7			評価理由
73	施設のバリアフリー化(スポーツ施設課)	【事業目的】 障害者や高齢者等が安心・安全に施設を利用できるようにするため。 【事業概要】 体育施設(グラウンド、テニスコート、柔剣道場、体育館)のバリアフリー化や、主に大規模な修繕や更新等の際に、誰もが使いやすい施設となるようユニバーサルデザインへの対応を実施する。 また、夏期の熱中症、冬期の低温対策のため体育館へエアコンを順次設置する。	谷田部総合体育館において、玄関入口に緩勾配のスロープを新設し、車いすを含めた思いやり駐車スペースを増設した。 谷田部テニスコートにおいて、車いす利用者が施設を利用できるようスロープを含めた動線を新たに確保し、屋外トイレに多目的トイレを新設した。 豊里体育館において、玄関入口に至る階段に3か所手すりを設置した。 HPIに掲載している施設のバリアフリー情報を都度更新した。	予算額 44,220	実施件数(件)	目標値	-	-	谷田部総合体育館では車いす利用者の施設利用が増えた。 また、谷田部テニスコート屋外トイレの多目的トイレも好評である。	段差がある施設には、スロープや手すりの設置を進めている。 1年度につき1体育館を目標にエアコンを設置していく。	S
新規	スポーツ施設課			決算額 40,529		実績値	7	5			R6年度当初の計画通りに施設のバリアフリー化ができたため。
74	施設のバリアフリー化(公園施設課)	【事業目的】 スポーツ施設をバリアフリー化し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。 【事業概要】 スポーツ施設をバリアフリー化し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。	羽成公園、科学万博記念公園テニスコートを改修した。	予算額 -	改修件数(件)	目標値	-	-	計画的な改修と、偶発的な修繕を行うことができた。	公園全体としてバリアフリーを 考える必要があるため、再整備計画を策定していく。	A
新規	公園・施設課			決算額 -		実績値	1	2			スポーツ施設の機能維持改修の際、バリアフリー対応を併せて行えた。
75	施設のバリアフリー化(地域支援課)	【事業目的】 地域交流センター利用者の安心・安全な施設環境を提供するため。 【事業概要】 地域交流センター利用者に安心・安全な市民交流と生涯学習の場を提供するため、適切な維持管理と整備を行う。	施設のバリアフリー化を伴う工事の実施なし	予算額 687,579	工事件数(件)	目標値	-	-	令和7年度施工予定の「春日交流センター長寿命化改修工事」の設計図書に、施設のバリアフリー化を盛り込んだ。	長寿命化改修工事等を実施する際に、施設のバリアフリー化を図っていく。	C
新規	地域支援課			決算額 527,938		実績値	1	0			利用者の転倒防止のため、施設玄関前の段差解消等の小規模修繕を行っているが、完全なバリアフリー化のための工事は、大規模改修等ではなければ実現が難しい。

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予 算 額	決 算 額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
76	施設のバリアフリー化(教育施設課)	【事業目的】 施設のバリアフリー化を推進することで、だれもがスポーツができる環境を確保するため。	学校施設長寿命化計画に基づき、手代木中学校武道場において、みんなのトイレ及びスロープの整備によりバリアフリー化を実施した。	5,206	4,842	工事件数 (件)	目標 値	1	1	施設のバリアフリー化により、誰もが安心してスポーツのできる環境が確保された。	令和7年度高崎中学校体育館の長寿命化改修工事において、バリアフリー工事を同時に実施し、スポーツ環境の整備を図る。	S
新規	教育施設課	【事業概要】 学校施設長寿命化計画に基づき、学校体育施設のバリアフリー化を図る。				実績 値	0	1				

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策8(2)はやや遅れており、改善事項があることから、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツの普及や高齢化の進展などにより、スポーツ施設等におけるバリアフリー化のニーズは高まる傾向にあり、現状のバリアフリー化との乖離が大きくなっていると考えられる。 ・ 規模の小さな修繕や改修といった工事は比較的着実に進められているものの、大規模工事の実施には困難さがあるとみられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業73 → スポーツ基本法では誰もがスポーツを行う権利を有する旨が明記されており、とりわけスポーツを実施することが主な目的となる各施設においては、先陣を切って利便性の向上を図っていただきたい。

施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理【推進計画P53】

(3) 利便性の向上【重点取組3】

④	学校体育施設の利用については、運用・利用方法の見直しを図り、地域への開放を推進します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	39.50%	55%以上
⑤	スポーツ施設の利用については、現行のシステムで可能な施設の空き状況の確認や、予約については継続実施するとともに、利用登録カード発行手続きの簡素化や支払い方法の見直しなど、ICTやIoTを活用したシステムを検討します。				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
					指標名	R5	R6			
77	学校体育施設の開放	【事業目的】 スポーツをする場と交流の機会を提供するため。	・小学校、中学校、義務教育学校の体育施設等を定期的・継続的に使用しようとする団体から、学校施設使用許可申請書を提出していただき、学校と調整の上、施設使用許可書を交付することで開放事業を推進した。 ・新たに、小学校2校、中学校1校の体育施設を開放した。 ・施設利用に関するルール見直しを行い、事前に利用希望調査を実施した。 ・ランダムに学校を抽出し、利用実態調査を実施した。	予算額 3,335	目標値	49	49	令和6年度に受付した申請数:628件 ・体育施設の新規開放や調整会議の円滑な運営の実施により、多くの利用者にスポーツをする場と交流の機会を提供した。	・新たに学校体育施設開放管理システムを導入し、利用申請における希望調査及び本申請等のすべての手続きをシステム上で完結できるよう改善する。 ・システムに連携したスマートロック(キーボックス)を同時に導入することで、学校のセキュリティ面の向上及び利用者の鍵管理負担の軽減を図る。 ・利用実態のない団体に適切な利用を促す。	S
(10)	教育施設課	【事業概要】 学校体育施設を市民に開放し、スポーツをする場と交流の機会を提供する。		決算額 622	実績値	47	49			
78	県立高等学校体育施設開放事業	【事業目的】 市内で活動しているスポーツ団体へ練習場所を提供する。	前年度末に3団体から申請を受け付け、高校側と調整を行った上で、使用開始の許可を行った。	予算額 0	目標値	-	-	3団体が事業を利用し、スポーツ活動を行った。	貸出可能施設が上限のため、新規の団体の参入は不可能。	S
(58)	スポーツ振興課	【事業概要】 茨城県の県立学校体育施設開放促進事業に基づき、つくば市内の県立高等学校の体育施設を開放する。		決算額 0	実績値	-	-			上限いっぱい申請を受け、利用させることができた。
79	施設予約システムの改修	【事業目的】 施設利用者にとって、より予約を便利にするため。	予約システムの改修に向けたWGチームに参加しており、現行システムの問題点の洗い出しや他市町村で使用している予約システムのデモ使用を行った。	予算額 0	目標値	11,400	11,500	令和6年4月1日時点での有効利用者が、市内:8,824人、市外:2,997人となり、昨年度より予約カード登録者数が増加した。	他市町村のシステムも参考にしながら、使いやすい予約システムへの改修を検討していく。	S
新規	スポーツ施設課	【事業概要】 体育施設利用のインターネット予約ができる現行システムの更新も含め、利便性の向上について検討する。		決算額 0	実績値	11,314	11,821			

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策8(3)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の施設については、学校施設やスポーツ施設ともに広く地域に開放できていると考えられるが、市民の関心は高く、簡便な予約・使用方法など検討の余地がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業77 → 49校分の利用者は多数に上ることが考えられ、システムの導入の際は可能な限り円滑に移行し、導入による利用者への負担を最小限に止められるよう対策いただきたい。

施策9 スポーツ環境の整備【推進計画P54】

(4) 地域特性をいかしたスポーツ環境の充実【重点取組3】

①	「ランナーに愛されるまち」「自転車のまちづくり」の一層の推進を図るため、ランニングに関する取組を周知するとともに、茨城県のつくば霞ヶ浦りんりんロード活用促進活動と連携した広域レンタサイクル事業とつくば市のレンタサイクルやシェアサイクル事業の実施、周知を進めます。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	39.50%	55%以上
②	多様な主体と連携して、地域スポーツをいかしたスポーツ観戦などの機会を提供し、「みる」スポーツの機運醸成を図ります。				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6			R7
再掲 38	鹿島アントラーズとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民招待デー(5/19)、フレンドリータウンデイズ(8/17・3/16)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。ウォークラリー大会や健康マラソン等市のイベントへマスコットキャラクターを派遣するとともに、試合の周知を行い、みるスポーツの推進を行った。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	1,500	1,500	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市の日については、定員を超えての申し込みがあった。	S
	(73) スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。		0	0	実績値	-	2,024			
再掲 39	つくばユナイテッドサンガイアとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市PRデー(2/22)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	100	100	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市PRデーについては、定員の200名には届かなかったが、多くの市民が参加した。	S
	(73) スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。		0	0	実績値	-	276			
再掲 40	茨城ロボッツとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民デー(1/29)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。スポーツフェスティバルへ参加していただいた。新規として、市内小中学校への朝の挨拶運動を実施してもらった。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	200	200	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市民デーについて、多くの市民に参加いただいた。	A
	(73) スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。		0	0	実績値	-	194			
再掲 41	つくばFCとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市民デー(6/16・23)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、多くの市民が観戦をした。また、市内公共施設への試合に関するポスターの設置やチラシの配布、庁内展示ブースにおける公式戦のPRを実施した。	0	0	PRデー市民申込者数(人)	目標値	200	200	団体と連携し、つくば市民の「みるスポーツ」の推進に励んだ。つくば市民デーについては、定員を超えての申し込みがあった。	S
	(73) スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。		0	0	実績値	-	497			
再掲 44	つくばマラソン開催事業	【事業目的】 集客力のある大規模なイベントを開催することで、スポーツの楽しみや健康の増進や参加者の交流の場を提供し、スポーツでつながるまちづくりに寄与するとともに、市のPRにつなげるため。	令和6年11月24日(日)に予定通り開催した。 主会場:筑波大学陸上競技場 参加者:フルマラソン 8,770人 10km 1,781人	15,000	15,000	当日参加者数(人)	目標値	10,200	8,500	全国的に多くのマラソン大会が定員割れとなる中、フルマラソンの部がエントリー開始から約1時間20分で、10kmの部も締切りを待たずに定員に達しており、つくばマラソンの運営が多くのランナーに選ばれ愛されている証と考える。	S
	(42) スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。		15,000	15,000	実績値	9,916	10,551	次回大会からコースをリニューアルするに当たり、日本陸連の公認取得、警察との交通規制の調整、その他必要な会議の開催など、多岐にわたる業務を実施する必要がある。		

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
					指標名	R5	R6	R7			評価理由
70	サイクルパークつくばの活用	【事業目的】 市内の自転車利用の中核となる場を提供することにより、自転車の利用促進及び地域の振興に寄与するため。	・6/1~6/2に2024JBMXF大東建託シリーズ第3戦つくば大会を誘致した。 ・11/3に自転車イベント「Pedal Day Go」を開催した。 ・「弱虫ベダルつくばBMXレーシングシリーズsupported by沼尻産業」を計6戦、「沼尻産業つくばBMXレーシングシリーズ2025」の第1戦・第2戦を開催した。	予算額 24,887	施設利用者数(人)	目標値	6,000	6,250	・BMXコースを中心に多くの来訪があった。 ・自転車イベント「Pedal Day Go」は約3,500人の参加があり、自転車競技のみならず、自転車を楽しむ機運を醸成した。	・BMXコース利用のみではなく、ロードバイクやクロスバイクなどでサイクリングを楽しむ層により利用してもらえるよう、施設の認知度を上げる。	S
	新規	サイクルコミュニティ推進室	【事業概要】 ナショナルサイクリングルートに指定されているつくば霞ヶ浦りんりんロードやヒルクライムを楽しむサイクリストで賑わう筑波山不動峠からほど近いBMXレーシングコースを備えた自転車拠点サイクルパークつくばを管理・運営する。	決算額 24,887		実績値					
80	自転車のまちづくりの推進	【事業目的】 自転車の安全で適正な利用を促進するため。	・利用件数が堅調に推移しており、10/1から、実証実験から本格運用に移した。 ・自転車を42台増車し、合計100台とした。 ・サイクルポートを26か所拡充し、合計49か所とした。	予算額 23,785	1日当たりのシェアサイクル利用件数(平均)(件/日)	目標値	100	125	・シェアサイクルの年間利用者数は39,054回となり、約1.6倍に増加した。	・令和7年度以降も利用者のニーズに合わせてポートを追加するなど、事業を拡充していく。	S
	(52)	サイクルコミュニティ推進室	【事業概要】 つくば市自転車活用推進計画に基づき、自転車の安全で適正な利用を促しつつ、市内の自転車利用の向上を図る。	決算額 18687		実績値					
81	つくばりんりんロード活用推進協議会 広域レンタサイクル事業	【事業目的】 水郷筑波地域におけるつくば霞ヶ浦りんりんロードを核としたサイクリングエリアの認知度向上及び安全な環境整備等に取り組むことにより、交流人口の拡大、地域の活性化を図るため。	・貸出場所に筑波山ゲートパークを追加し、市内で2か所に増加させた。 ・9月から12月にかけて協議会と連携して『サイクリングで巡る！ご当地キャラNFTスタンプラリー inつくば霞ヶ浦りんりんロード』を開催し、ご当地キャラクターの限定NFTを配布するイベントを実施した。	予算額 985	広域レンタサイクルの利用者数(人)	目標値	191	198	・つくば駅前観光案内所が215件、筑波山ゲートパークが67件の利用があった。 ・協議会と連携してつくば霞ヶ浦りんりんロードの魅力を楽しめるスタンプラリーやいばらきK1ライド2024等のイベントを開催し、多くのサイクリストが参加した。	・つくば霞ヶ浦りんりんロード活用推進協議会と連携して、魅力的なサイクリングルートを構築し、レンタサイクルの利用促進を図る。	S
	(82)	サイクルコミュニティ推進室	【事業概要】 つくば霞ヶ浦りんりんロード活用推進協議会と連携して、つくば霞ヶ浦りんりんロードを有効活用するために広域レンタサイクル事業を実施する。	決算額 856		実績値					

評価結果	評価結果の分析等
S	<p>■ 施策9(4)は順調に進んでおり、評価は「S」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源である各スポーツチームとの連携の下、公式戦へ市民を招待し応援の機運を醸成することで、各チームの地域定着を促進させるとともに、市民における「みる」スポーツの振興を図っている。 ・ 長く親しまれるつくばマラソンは本市のスポーツ文化の象徴となっている一方で、新たにBMXを始めとする自転車施策が講じられており、これらの新旧の施策によって本市が特徴づけられている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業44 → コースのリニューアルに当たっては、住宅が多い地域を走行することで市民とつくばマラソンとの距離が物理的に、そして精神的にも縮まり、これからも市民に愛される大会として育つよう万全を期して運営いただきたい。そして、つくばマラソンによって醸成されたスポーツ文化が他のイベント等に波及し、相乗効果を生み出せるよう、長期的な視点を持って取り組んでいただきたい。【再掲】 ・ 事業70 → スケートボードやBMXといったアーバンスポーツについては、若者を始めとする多様な市民の交流機会の創出や、現代的な都市文化の醸成といった効果も有している点に留意しながら、創意工夫の上でふさわしい振興策を講じていただきたい。【再掲】

施策9 スポーツ環境の整備【推進計画P54】

(5) スポーツツーリズムの推進

③	つくばマラソンや、つくば霞ヶ浦りんりんロード、筑波山を活用したサイクリングイベント等との連携や、筑波山周辺地域や自然環境の活用を進めるなど、地域のスポーツ資源をいかしたスポーツツーリズムを推進します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	39.50%	55%以上
④	フォレストアドベンチャー・つくば等を活用し、観光の活性化に寄与するスポーツツーリズムを促進します。				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6				R7
再掲 44	つくばマラソン開催事業	【事業目的】 集客力のある大規模なイベントを開催することで、スポーツの楽しみや健康の増進や参加者の交流の場を提供し、スポーツでつながるまちづくりに寄与するとともに、市のPRにつなげるため。	令和6年11月24日(日)に予定通り開催した。 主会場:筑波大学陸上競技場 参加者:フルマラソン 8,770人 10km 1,781人	15,000		当日参加者数(人)	目標値	10,200	8,500	全国的に多くのマラソン大会が定員割れとなる中、フルマラソンの部がエントリー開始から約1時間20分で、10kmの部も締切りを待たずに定員に達しており、つくばマラソンの運営が多くのランナーに選ばれ愛されている証と考える。	次回大会からコースをリニューアルするに当たり、日本陸連の公認取得、警察との交通規制の調整、その他必要な会議の開催など、多岐にわたる業務を実施する必要がある。	S
	(42)	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。	15,000		実績値	9,916	10,551				
再掲 45	フットバスコースの設定、PRの取組	【事業目的】 筑波山麓や田園地帯、古い街並み等の昔ながらの風景を楽しみながら周遊観光を促進する。	筑波山麓地域等のフットバスの他に市内全域を対象とした新たな周遊観光モデルコースを6コース策定し、リリースした。	831		パンフレットの配布数(枚)	目標値	32,000	31,500	これまでと同様にパンフレットの配布等によりPRすることで観光客の増加に寄与し、市内周遊観光モデルコースのリリースにより、新たな観光客層へ観光への関心が拡大した。	【課題】 フットバスの一部改訂の検討や道標の維持管理のための修繕が必要。 【取組】 令和7年度中にフットバスの一部改訂及び周遊観光のPRを行う。	A
	(46)	観光推進課		【事業概要】 筑波山麓地域や各地域をめぐるコースの設定及びマップ作成を行い市内の魅力をPRする。	753			実績値	32,000			
82	スポーツ合宿の誘致	【事業目的】 スポーツツーリズムによる市内誘客を推進し地域経済活性化を図る。	茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合と連携し、市内宿泊施設を利用するスポーツ団体等が市内の体育館やグラウンド等のスポーツ施設を利用する場合に通常の予約期間前の予約を可能することで、市内宿泊施設利用を誘致し地域経済の活性化を促した。	0		施設利用者数(人)	目標値	900	1,000	過去実績で最大約8割を占めていた宿泊事業者の経営方針が令和5年度途中から変更となりスポーツ合宿受け入れを行わなくなったため、目標値を下方修正したが、他の宿泊先からの予約は増加した。	【課題】 スポーツ合宿について、施設利用者への周知が必要。 【取組】 茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合つくば支部等と引き続き連携し制度の周知し利用を促していく。	A
	(35)	観光推進課		【事業概要】 市内スポーツ施設や廃校を活用し、スポーツ合宿を誘致する。	0			実績値	2,484			
83	森林体験パークの整備及び通年型観光拠点の構築	【事業目的】 市有地の保全を図りながら新たな観光資源の活性化を図る。	コースランディング修繕及びコースの簡易修繕を実施した。 また、コース活用木においてカシナガ対策を実施した。	3,609		施設利用者数(人)	目標値	15,000	14,000	施設の長寿命化を図るため、施設の改修を適宜実施した結果、利用者への満足度向上が図れた。	【課題】 パーク内樹木でカシナガ被害木が確認された。パークの長期運用を図るため、被害を最小限とする対策の実施、かつコースの見直しを図る必要がある。 【取組】 薬注対策	A
	(36)	観光推進課		【事業概要】 筑波山梅林周辺の市有地に森林体験パークを整備し、新たな年代層をターゲットとした通年型観光拠点を構築し、スポーツツーリズムの促進を図る。	1,761			実績値	12,585			

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
84	筑波山麓の整備・筑波山周辺 観光の活性化	【事業目的】 筑波山及び周辺の観光資源を最大限に生かし、年間を通じた誘客を行い、周辺観光産業の活性化を図る。	筑波ふれあいの里キャンプ場においてサニタリー棟の改修工事を実施した。また、筑波山山頂周辺においては、筑波山観光用水道の老朽化した管の布設替工事を実施した。さらに、昨年度解体工事を行った第2駐車場トイの跡地に展望デッキを整備した。	269,798	215,930	-	目標値 /	-	-	令和6年度は各観光施設の改修・整備工事を実施し、観光地における公共空間の充実を図ることができた。	【課題】 各施設とも老朽化した施設があり今後も修繕の必要性がある。 【取組】 令和7年度に令和8年度以降整備予定の設計業務を実施する予定である。	A
(62)	観光推進課	【事業概要】 筑波山周辺の登山道、ハイキングコース、フォレストアドベンチャー・つくば、フットパス、ウォーキングコース、道案内表示、関連マップを整備し、筑波山周辺地域と観光の活性化を図る。					実績値 -	-	-			各施設とも適正な維持管理が行われ、かつ施設整備も進められ、利用者の安全と施設の魅力向上が図られたため。

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策9(5)はやや遅れており、改善事項があることから、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> マラソンや自転車、筑波山といった資源の活用は重要であり、個別の事業は概ね順調に進んでいる一方、それらの資源が連携し相乗効果を発揮する点においては改善の余地がある。 第3次つくば市観光基本計画においても、観光資源間の周遊性が不十分さが主な課題として挙げられており、資源間の連携やネットワーク化の推進が必要とされている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業83 → 自然環境下のスポーツ活動による効果は単なる運動に止まらず、メンタルヘルスの増進や環境保全に対する意識の向上も期待できると考えられ、利用者数が増加に転じるよう効果的に周知いただきたい。

施策10 スポーツ活動における安全の確保【推進計画P54】

(6) スポーツ活動における安全教育の推進【重点取組2】

①	市民が安全にスポーツ活動を行えるよう、スポーツ推進委員の研修会や、指導者の講習会等において、安全管理に関する教育研究を徹底して実施します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	39.50%	55%以上
②	学校において、子どもたちが安全にスポーツ活動を行えるよう、教員のための指導者研修会を実施します。				

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6			R7	評価理由
再掲 7	学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施	【事業目的】 体育・スポーツの指導充実を図るため。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内全校の教職員が参加した。	予算額	-	体育実技講習会(参加人数)	目標値	45	50	研修会が学校においてすぐに実践できる内容であったため、研修会後に体育の授業に取り入れ、質の向上を図ることができた。また、多くの学校では、研修参加者が研修の内容を校内において共有することで、教職員全体への質の向上を図ることができた。	取組継続	S
	(65) 学び推進課	【事業概要】 学校の教員のために体育・スポーツに関する指導者研修会を実施する。		決算額	-		実績値	48	50			
再掲 15	中学校武道等指導推進	【事業目的】 中学校における武道等の指導を充実させるため。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内1校の教職員が武道等参加した。	予算額	-	武道等講習会参加人数(人)	目標値	8	8	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会に参加したことをもとに部活指導に生かした。	取組継続	C
	(71) 学び推進課	【事業概要】 中学校の武道等の指導を推進し、安全指導を徹底するために、外部指導者の派遣支援を行う。		決算額	-		実績値	1	1			
85	自転車のまちづくりの推進	【事業目的】 交通事故の防止や交通安全意識の啓発を行うことにより、交通安全の向上を図るため	各年齢層に即した交通安全教室を開催した。	予算額	0	交通安全教室参加者数(回)	目標値	400	400	各年齢層の市民に、交通安全意識の向上を図ることができた。	引き続き、地域の実情や要望に応じた交通安全教室を実施していく。	S
	(53) 防犯交通安全課	【事業概要】 安全・安心、環境、健康等に視点を置き、自転車を利用する子どもから高齢者までの全ての市民を対象に「ひと・自転車・クルマが共生できるまちつくば(安全で快適なりんりんつくば)」を推進する。また、子どもたちには、交通ルールや自転車のマナーを学ぶ機会を提供し、安全に楽しく利用できるよう推進する。		決算額	0		実績値	401	431			

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			評価理由
86	スポーツ指導者の資格認定や講習会における安全教育の徹底	【事業目的】 スポーツ指導者による安全教育の徹底により、スポーツ事故を防止するため	令和6年7月、スポーツ推進委員を対象とし、「共生社会実現にむけた地域スポーツのあり方」をテーマとした研修会を開催し、安全管理面の資質向上を図った。	13	13	スポーツ推進委員研修会の参加人数(人)	目標値	28	29	本研修会をきっかけに、20名の出席者のうち7名から、障害者を対象としたスポーツ体験講座への協力の申し出があった。	スポーツ推進委員の活動の場が十分とは言えず、今後も効果的な方策を検討していく。	A
(70)	スポーツ振興課	【事業概要】 運動やスポーツの指導者や推進員の資格認定や講習会において、安全管理に関する教育研修を徹底する。				実績値	27	20	本研修会の参加者は目標値を下回ったものの、本研修会をきっかけに、障害者を対象とした体験講座への協力につなげることができたため、評価を引き上げた。			

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策10(6)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員やスポーツ推進委員といった指導者については、研修会等への参加によって資質向上を図っているが、対象者や参加人数が適正であるか検討の余地がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業15 → 武道の学習効果は身体的・精神的な成長のみならず、我が国独自の文化や価値観への理解増進にも及ぶ点を勘案し、指導に当たる教職員が積極的に研修会へ参加するよう働きかけを行っていただきたい。【再掲】

施策10 スポーツ活動における安全の確保【推進計画P54】

(7) スポーツ事故・障害の予防等に係る啓発

③	市内の大学や研究機関等によるスポーツ医・科学に関する知見を活用し、市民や指導者等に対するスポーツ事故やスポーツ障害の予防等に関する啓発等を支援します。	成果指標		R4(現況値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	39.50%	55%以上

再掲 事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円	指標				R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
					指標名	R5	R6	R7			
55	筑波大学との協力	【事業目的】 筑波大学との連携を深め、大学スポーツの魅力を知ることにより市民のスポーツ活動への啓発をするため。	本市からは、筑波大学が実施するイベントにおける会場確保や広報活動に協力し、また、筑波大学からは、本市が実施する各種スポーツ教室の講師や審議会の委員として、専門的な見地から協力いただいた。	予算額 0	目標値	-	-	本市と筑波大学の協力関係が構築されていることで、イベントの実施における円滑化や、スポーツ行政における専門性の向上につながった。	筑波大学が有するスポーツ資源をさらに市民に還元できるよう、筑波大学との足並みを揃えながら、協力関係を深化させていく。	A	
(75)	スポーツ振興課	【事業概要】 筑波大学関連団体の主催のスポーツイベントに広報活動や会場確保などの支援を行う。また、市の事業を筑波大学関係者からの協力を得ながら連携して行う。		決算額 0	実績値	-	-			協力関係の深化の余地を踏まえて、現状は「概ね順調に進んでいる」と判断し評価Aとした。	
87	マラソン医療救護体制の連携強化	【事業目的】 安全につくばマラソンを開催するため。	つくばマラソンの主会場及びコース上に計8か所の救護所を設けたほか、40人のモバイルAED隊や5人のドクターランナーなど、救護症例発生時に迅速に対応できる体制を整えた。	予算額 15,000(実行委員会への負担金)	医療救護件数(件)	-	-	心肺停止が1件発生したが、モバイルAED隊の迅速な対応により蘇生した。後日、ご本人から無事に回復できたとの感謝の手紙をいただいた。	次回大会からコースをリニューアルするに当たり、医療救護体制をどのように整えるか、綿密な調整が必要である。	S	
(74)	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。		決算額 15,000	実績値	257	340				
88	つくばマラソン練習会	【事業目的】 初心者ランナーに対してマラソン走に向けた練習方法のサポートと、既に経験のあるランナーに対しても更なるステップアップを目指した情報を提供するため。	筑波大学の鍋倉教授を講師として、全4回実施した。フルマラソンの練習方法を段階を追って指導したほか、練習やレース上でのマナー等の講習を行った。	予算額 15,000(実行委員会への負担金)	参加者数(件)	-	100	100	ほとんどの参加者がつくばマラソンにエントリーしており、大会に向けた有意義な練習会となった。	次回大会からコースをリニューアルするに当たり、どの区間を練習会のコースとするか、講師との調整が必要である。	B
(74)	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。		決算額 15,000	実績値	65	79				
89	つくばマラソン「マラソンを科学する」	【事業目的】 「つくば」が有する「科学」のイメージをより強固にし、「つくばマラソン」の価値向上を図るため。	2件の応募があり、2件とも採択した。 ①マラソンの至適ペースを科学する(マラソンにおける最適なペース戦略について) ②マラソン出場選手のコンディションを科学する(マラソンにおけるコンディション調整について)	予算額 15,000(実行委員会への負担金)	支援した取組件数(件)	-	5	5	本事業は、つくばマラソンの大会テーマとなっており、「科学のまちつくば」ならではの取り組みとして定着している。	次回大会からコースをリニューアルするに当たり、多くの申請が提出されるよう関係各所に周知を行う。	A
新規	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。		決算額 15,000	実績値	1	2			本事業の支援件数は目標値を下回ったものの、①②とも活動内容がつくばマラソンにとって非常に有意義かつ効果的なものであったため、評価を引き上げた。	

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策10(7)はやや遅れており、改善事項があることから、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業ごとでは順調な事業もあるものの、大学や研究機関等によるスポーツ医・科学に関する知見の活用は限定的であり、連携の深化が求められる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業55 → 本市の特長となる大学や研究機関に対しては、有する知見をスポーツ施策に活用するなどの連携も考えられるため、検討を進めていただきたい。【再掲】 事業87 → 救護体制の構築は非常に重要であり、選手の生命・健康を守る体制を整えることで、イベントに対する信頼性の向上にも寄与する。コースのリニューアルに当たっては、医療関係者等との調整を密にし、つくばマラソンがこれからも愛され続けられるよう万全を期していただきたい。

第2次つくば市スポーツ推進計画の進行管理等に係る事前質問一覧

No.	施策	ページ	事業番号	事業名	御質問・御意見	提出者	担当部署
1	1	P.2	2	児童・生徒の体力向上	児童生徒の体力向上等の事業は、全員が参加できる「体育の授業」で行うことが理想的だと思うが、どうだろうか。	萩原委員	学び推進課
2	1	P.2-3	-	施策1(1)全体について	体育の授業は児童生徒が受けなければならない、必修科目です。どの項目を見ても出発点が、全員が「体育好き」で始まっていますが、「体育嫌い」の児童生徒はいないのでしょうか。いるのであればその人たちへのアプローチを、何か考えていますか。	萩原委員	学び推進課
3	1	P.4	12	放課後子ども教室の推進	スポーツに関する事業を行なったのは36回とあるが何校での実施か。 (意見としてここではあくまでスポーツ関連の教室を実施した件数を指標とするべきではないか。また、体育館の使用は義務教育学校では中学校の部活があり難しいが、その他の学校ではなるべく実施の方向性があってもよいのではないか)	あさの委員	こども育成課
4	1	P.4-5	-	施策1(2)全体について	②各学校の実情に合わせ、地域のクラブ、企業等と連携して、とありますが、どの組織と、何を連携するかを明確にしないといつまでも机上論だけで進んでしまいます。この課題も、他組織との連携で多くの難題を含んでいますが、要はもっとスピードを上げて取り組まないと、状況は否応なしに進んでいます。 だからこそ、行政内の学び推進課、学務課、こども育成課、スポーツ振興課との横の繋がりを強固にして、それぞれの持っているノウハウを集約するような取り組みは考えられないのか。	萩原委員	スポーツ振興課
5	2	P.6	19	65歳以上の出前健康教室	シルバーリハビリ体操教室は大変素晴らしい取り組みだと思うが、コロナ以降止めてしまい、復活していないグループがあると聞くと、実際はどうか。ある場合、それらに対する対応と効果。	あさの委員	健康増進課
6	2	P.6	-	施策2(3)全体について	運動教室に積極的に出席するような人たちは大丈夫ですが、そのような機会になかなか顔を出さない高齢者に、運動をすることの重要性をどのように展開するのでしょうか。	萩原委員	健康増進課

No.	施策	ページ	事業番号	事業名	御質問・御意見	提出者	担当部署
7	3	P.8-10	-	施策3全体について	障害者スポーツに取り組む意欲のある民間施設も多いと聞くと、マッチング、施設の紹介などは事業として実施されているか	あさの委員	スポーツ振興課
8	8	P.27	60	地域交流センターの活用	地域の身近な施設である交流センターにおいて、スポーツができるような改修は可能か。	萩原委員	地域支援課
9	8	P.29	69	みどりのプールの活用と管理	「専用利用」の団体数と頻度。講座の人气が高く、一方地域住民の一般利用が伸びないと聞くと今後の方針	あさの委員	スポーツ施設課
10	8	P.29	71	学校体育施設の維持管理	プールについては記載がないが、学校施設長寿命化計画によるとプール設置の44校中6割の施設がC, D評価。多額の費用がかかるプール改修と各校でのプール授業実施について今後の方針はどこでいつごろ決定していく予定か。	あさの委員	教育施設課 学び推進課 学務課
11	8	P.29	72	陸上競技場の整備検討	上郷高校跡地に計画している陸上競技場について ①予定している競技場は公式ですか？記録会は年何回実施する予定ですか？ ②現時点での建設予定費用（41億円）、及び今後の年間維持管理費（9千万円）について詳細を教えてください ③完成後に、使用料などの収入の見通しについてお知らせください。 ④近隣住民が被る迷惑等、予測されることをお聞かせください	石黒委員	スポーツ施設課
12	8	P.27-29	-	施策8(1)全体について	多くの施設を抱える行政として、施設トリアージの計画等はあるのか。トリアージ後に大規模改修か新設のスポーツ施設の計画はあるのか。	萩原委員	スポーツ施設課 公園・施設課

成果指標の調査報告

1 調査経緯

「第2次つくば市スポーツ推進計画」策定時に基礎調査として「①成人」「②障害者」「③子ども」約9千人に対しアンケート調査を実施している。

本計画では、アンケート調査項目と関連する9つの成果指標により基本戦略の効果や進捗を測ることとしているため、進捗状況の把握と評価に必要な成果指標の数値を調査すべく、アンケートを実施した。

なお、アンケート期間は当初、令和7年1月から1ヶ月程度行う予定だったが回答数が少なかったため、年度末まで延長して実施した。

2 調査内容

成果指標の9項目のうち7項目に対してWebアンケートを実施した。

残りの2項目については登録会員数と受講者数のため実績値を使用する。(アンケート不要)

3 調査方法・回答状況

調査期間 令和7年1月16日(木)～令和7年3月31日(月)

対象者		調査方法	回答数
① 成人	市内在住の18歳以上	Web 回答 ・つくば市ホームページの掲載 ・学校へのwebチラシ ・アンケートチラシの展示・掲示	39名
② 障害者	市内在住の障害者手帳を所持する7歳以上		2名
③ 子ども	市内在住の小学5年生、中学2年生、高校2年生		8名

4 調査結果 別紙参照

5 まとめ

Webアンケートの回答総数は49件と少なく、分析・評価をするための参考となる結果は得られなかった。

基本戦略を分析・評価するためには、令和4年度に実施したアンケート(配布:8,895件、回収3,957件)と同等の内容と規模で行う必要がある。また、基本戦略は一時的な成果を求めるものではなく、長期的な視点をもって分析・評価する必要がある。そのため、中間見直しの令和10年もしくは、計画最終年度の令和15年にアンケートを実施することも考えていく。

なお市では、隔年で市民意識調査(対象:18歳以上の市民 3,000人)を実施しており、一部の成果指標については代用して調査を実施する。

成果指標 調査結果

- ①成人 39件 (20代: 5名 30代: 6名 40代: 15名 50代: 6名 60代: 3名 70名: 4名)
- ②障害者 2件 (10代: 1名 40代: 1名)
- ③子ども 8件 (小学5年生: 7名 中学2年生: 1名)
- 合計 49件

基本戦略1 スポーツ機会の創出

指標①	児童生徒の週3回以上のスポーツ実施率 * 体育の授業や登下校を除く	目標値(R15)	
		調査時期(予定)	
		中間・期末アンケート	
		小5 : 54%	中2 : 75%
令和4年度	小5 : 44.4%	令和6年度	小5 : 28.6% (2/7)
	中2 : 65.9%		中2 : 0% (0/1)
	高2 : 53.4%		高2 : 回答なし

指標②	卒業後にも運動やスポーツをしたいと思う児童の割合 * 体育の授業や登下校を除く	目標値(R15)	
		調査時期(予定)	
		中間・期末アンケート	
		小5 : 80%	中2 : 80%
令和4年度	小5 : 66 %	令和6年度	小5 : 71.4% (5/7)
	中2 : 68.4%		中2 : 100 % (1/1)
	高2 : 68.1%		高2 : 回答なし

指標③	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	目標値(R15)	
		調査時期(予定)	
		70%	市民意識調査
令和4年度	55.1%	令和6年度	61.5% (24/39)

指標④	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	目標値(R15)	
		調査時期(予定)	
		80%	市民意識調査
令和4年度	56.8%	令和6年度	79.5% (31/39)

指標⑤	障害者の週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションの実施率	目標値(R15)	
		調査時期(予定)	
		50%	中間・期末アンケート
令和4年度	38.3%	令和6年度	100% (2/2)

指標⑥	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	目標値(R15)	
		調査時期(予定)	
		20%	市民意識調査
令和4年度	-	令和6年度	28.6% (14/49)

基本戦略2 スポーツ推進体制の強化

指標⑥ (重複)	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	目標値(R15)	調査時期(予定)
		20%	市民意識調査
令和4年度	—	令和6年度	28.6% (14/49)

指標⑦	つくば市スポーツ協会の登録会員数	目標値(R15)	調査時期(予定)
		9300人	毎年(実績値)
令和4年度	6929人	令和6年度	7051人

指標⑧	スタートコーチ養成講座受講者数	目標値(R15)	調査時期(予定)
		230人	毎年(実績値)
令和4年度	83人	令和6年度	167人

基本戦略3 スポーツ環境の整備・充実

指標⑨	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	目標値(R15)	調査時期(予定)
		55%	中間・期末アンケート
令和4年度	39.5%	令和6年度	23.8% (5/21)

つくば市スポーツ推進審議会委員名簿

任期:令和5年11月19日から令和7年11月18日まで

No	氏名	性別	所属	区分等
1	酒井利信 (サカイトシノフ)	男	筑波大学体育系教授 博士(体育科学) 武道学	【会長】 学識経験者
2	萩原武久 (ハキワラ タケヒサ)	男	つくば市スポーツ担当理事 (一社)つくば市スポーツ協会会長	スポーツ団体の代表者
3	齊藤まゆみ (サイトウ マユミ)	女	筑波大学体育系教授 博士(スポーツ医学) アダプテッド・スポーツ科学	【職務代理者】 学識経験者
4	四位悟 (シイサトル)	男	つくば市中学校体育連盟会長 (つくば市立手代木中学校校長)	スポーツ団体の代表者
5	あさのえくこ (アサノ エクコ)	女	つくば市議会議員 (市民経済常任委員会委員長)	市議会議員
6	青戸克哉 (アオト カツヤ)	男	霞ヶ浦医療センター 整形外科部長	学識経験者
7	片岡千恵 (カタオカ チエ)	女	筑波大学体育系 助教 学校保健学、健康教育学	学識経験者
8	石黒澄子 (イシクロ スミコ)	女	つくば市バレーボール連盟会長	スポーツ団体の代表者
9	木村一男 (キムラ カツオ)	男	市民委員(公募)	市民委員
10	野村友香里 (ノムラ ユカリ)	女	市民委員(名簿)	市民委員
11	木村陸 (キムラ リク)	男	市民委員(公募)	市民委員
12	根本祥代 (ネモト サチヨ)	女	福祉部長	関係行政機関の職員